白馬村教育に関する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価報告書

（令和６年度事業対象）

令和７年８月

白馬村教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行なったので、ここに報告する。

１．教育委員会の組織等について

(1)　教育長及び教育委員（４名）

氏名	任期	役職
横川　秀明	令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日	教育長
幅下　　守	令和 3 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	教育長職務代理者
松沢　　亨	令和 3 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日	
武田　弥生	令和 4 年 11 月 2 日～令和 8 年 11 月 1 日	
服部　知子	令和 5 年 11 月 21 日～令和 9 年 11 月 20 日	

(2) 事務局

【教育課】
①事務局　・一般職職員 3 名　・会計年度任用職員 3 名
②学校給食センター　・一般職職員 1 名　・会計年度任用職員 17 名
（内代替 5 名、育休 1 名）
③学校　・会計年度任用職員 26 名
白馬南小 5 名、白馬北 10 名、白馬中 11 名

【子育て支援課】
①事務局　・一般職職員 7 名　・会計年度任用職員 4 名
②子育て支援ルーム　・一般職職員 1 名　・会計年度任用職員 3 名
③しろうま保育園　・一般職職員 14 名（内　育休 2 名）
・会計年度任用職員 26 名
④放課後児童クラブ　・会計年度任用職員 5 名（内　代替指導員 2 名）
⑤放課後子ども教室　・会計年度任用職員 2 名

【生涯学習スポーツ課】
①事務局　・一般職職員 5 名　・会計年度任用職員 1 名
②図書館　・会計年度任用職員 3 名
③ウイング 21　・会計年度任用職員 6 名
④公民館　・再雇用職員 1 名

(3) 教育機関等

白馬北小学校・白馬南小学校・白馬中学校・白馬村学校給食センター
白馬村公民館・白馬村図書館
しろうま保育園・子育て支援ルーム
白馬南小放課後児童クラブ・白馬北小放課後児童クラブ・白馬北小放課後子ども教室
白馬村子ども家庭センター

小・中学校児童生徒数（R6.5.1 現在）

南小	児童	105 人	普通学級	6	特別支援学級	2
北小	児童	257 人	普通学級	10	特別支援学級	3
中学	生徒	235 人	普通学級	7	特別支援学級	2
計		597 人				

２．教育委員会の活動状況（令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月）

(1) 教育委員会会議の開催

白馬村教育委員会会議規則の規定により、定例会を毎月 1 回開催した。

(2) 会議及び研修会等への参加（主な会議）

① 市町村教委・県教委懇談会
② 県招地教委連絡会
③ 校長会地教委合同会議
④校長教頭園長合同会議（8・3 月以外毎月開催）

(3) 学校行事及び各種行事への参加

主幹指導主事訪問に合わせて学校訪問を行った。新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に移行され 1 年が経過し、学校行事や各種行事は以前のように実施されるようになった。入学式、卒業式はもとより、小学校の音楽会や運動会、中学校の総合発表会なども多くの方が参列するなかで実施された。社会教育では、二十歳の集い、文化祭などの行事も以前のように実施した。

３．教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育委員会が定める規則等に関すること

- 白馬村立小中学校体験入学に関する取扱要綱の制定
- 白馬村就学援助費及び特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正
- 白馬村第 3 子以降学校給食費免除実施要綱の一部改正
- 白馬村教育委員会共催及び後援に関する要綱の一部改正
- 白馬村立学校職員の希望に基づく時差勤務実施要領の制定

教育長提案のとおり可決・承認した。

(2) 教育委員会が意見をする規則等に関すること

- フルタイム会計年度任用職員の給料に係る級及び号給決定に関する規則の一部改正
- 白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 白馬村放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正
- 白馬村子ども・子育て会議要綱の一部改正
- 白馬村小児インフルエンザ予防接種助成事業実施要綱の一部改正

- 白馬村子ども第三の居場所事業補助金交付要綱の一部改正
- 白馬村保育士移住支援事業補助金交付要綱の制定
- 白馬村妊婦一般健康診査実施要綱の一部改正
- 白馬村ネーミングライツ事業実施要綱の制定
- 白馬村ネーミングライツパートナー選定委員会設置要綱の制定
- 白馬村ジャンプ競技場条例の一部改正
- 白馬村使用料条例の一部改正
- 白馬村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 白馬村学校給食費徴収条例施行規則の一部改正

教育長提案のとおり可決・承認した。

(3) 教育関係委員会等委員の委嘱・任命に関すること

- 学校運営協議会委員・・・・ ・・・・・・・・・ 32名（南小12名、北小9名、中学11名）
- 白馬中学校薬剤師・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 白馬村小中学校給食献立委員会委員・・・・・・12名
- 白馬村公民館運営審議会委員・・・・・・・・・13名
- 白馬村学校給食センター運営委員会委員・・・・ 4名
- 白馬村図書館協議会委員・・・・・・・・・・・ 8名
- 白馬村通学路安全推進会議委員・・・・・・・・11名
- 白馬村社会教育委員・・・・・・・・・・・・・ 6名
- 白馬村スポーツ推進委員・・・・・・・・・・・ 9名
- 白馬村いじめ問題対策連絡協議会委員・・・・・ 6名
- 白馬村伝統的建造物群保存地区保存審議会委員・10名

教育長提案のとおり可決・承認した。

(4) 県費負担教職員の内申に関すること

① 転出・退職　　南小2名、北小4名、中学6名
② 転入　　南小2名、北小6名、中学6名
③ 任用校長　　0名
④ 指導上の措置　　0名

(5) 学齢生徒・児童の就学並びに生徒児童の入学、転学に関すること

① 区域外就学の許可
　村外から南小へ　3名
　村外から北小へ　3名
　村外から中学へ　2名
　南小学区から北小へ　4名
　北小学区から南小へ　4名
② 通級指導教室への通級許可　5名
③ 就学先の変更　特別支援学級から通常学級　0名
④ 就学先の決定　特別支援学校へ　0名
　特別支援学級へ　14名

(6) 教育予算に関すること

令和 6 年度白馬村一般会計補正予算（第 1 号）（第 3 号）（第 6 号）（第 8 号）（第 9 号）［教育予算］及び令和 7 年度白馬村一般会計予算〔教育予算〕について協議した。

(7) その他重要と認められる事項

① 県教委と村教委相互の連絡調整についての協議
② 感染症拡大防止のための一部休業についての協議

(8) 教育課

■主管する事業費（歳入） 40,751,984（円）

12 款 1 項 4 目	教育費負担金	学校給食費負担金	32,458,420
		学校給食費負担金滞納繰越分	5,800
13 款 1 項 5 目	教育使用料	体育施設使用料	12,600
		公有財産使用料	4,341
14 款 2 項 4 目	教育費国庫補助金	特別支援教育就学奨励費補助金	474,000
		部活動指導員任用補助金	192,000
15 款 2 項 5 目	教育費県補助金	長野県 GIGA 基金 1 人 1 台端末整備事業補助金	6,617,000
16 款 1 項 1 目	財産貸付収入	教員住宅貸付収入	214,200
16 款 1 項 2 目	利子及び配当金	義務教育施設整備基金等利子	92,015
		教育振興基金利子	60
		奨学基金利子	60
20 款 5 項 1 目	雑入	雑入	674,678
		損害保険料	6,810

国の GIGA スクール構想により、小中学校児童・生徒用タブレット購入に長野県 GIGA 基金 1 人 1 台端末整備事業補助金を充当した。雑入は、白馬北小学校と給食センターの漏水による水道・下水道料金の減免分の入金である。

また、上記の歳入のほか、ふるさと白馬村を応援する基金繰入金、学校修繕等の損害保険料（上記の損害保険料以外の分）は、歳入決算では総務費で一括計上されている。（ふるさと白馬村を応援する基金繰入金　78,200,000 円、損害保険料　242,474 円）

■主管する事業費（歳出） 532,596,442（円）

9 款 1 項 1 目	教育委員会費	1,755,715
9 款 1 項 2 目	事務局費	256,534,173
9 款 2 項 1 目	学校管理費（小）	26,368,397
9 款 2 項 2 目	教育振興費（小）	79,561,051
9 款 3 項 1 目	学校管理費（中）	12,564,331
9 款 3 項 2 目	教育振興費（中）	45,008,860
9 款 5 項 3 目	学校給食費	110,803,915

事務局費は、義務教育施設整備基金積立金、学校環境整備事業の工事請負費などにより増額となっている。

■課の方針と実績

令和 6 年度の教育課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

①教育施策に対し幅広い意見交換を行い、今後の施策を進める

課の目標は単年度ではなく、継続性をもって中期的に取り組む必要があるため、令和 5 年度の設定目標を承継して取り組んだ。

白馬村における教育の基本方針として令和 2 年度に「白馬村教育大綱」を定めた。その後、令和 3 年度に実施したアンケートの集計と、その意見をもとに生涯学習スポーツ課と連携しながら、令和 5 年度に「白馬村教育振興基本計画」の素案を中間報告をし、最終案を令和 6 年 4 月の教育委員会で議決され、令和 6 年度から 5 年間の本基本計画を定めた。

②地域に開かれた学校づくり

小中学校は、地域と学校をつなぐ学校支援コーディネーターを設置し、開かれた学校づくりに取り組んだ。

③地域と連携した食育の取組み

給食においては、地場産を利用する地産地消を進めた。秋には北アルプス地域振興局と連携し、南小で地場産米消費拡大対策として「さんろくおにぎり」に取り組んだ。また冬には有機栽培（オーガニック）の米を使用した給食を提供し、郷土食材に親しむ機会をつくるよう取り組んだ。

(9) 生涯学習スポーツ課

■主管する事業費（歳入） 182,178,557 （円）

13款1項1目	総務使用料	ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場ﾘﾌﾄ使用料	17,950,420
		ｸﾛｽｶﾝﾄﾘｰ競技場使用料	1,643,100
13款1項5目	教育使用料	体育施設使用料	2,695,450
		ウイング21使用料	5,952,050
		公民館備品使用料	4,800
14款2項4目	国庫補助金	伝統的建造物群保存対策補助金	4,260,000
		伝統的建造物群保存対策補助金（繰越）	2,229,000
14款3項1目	国庫委託金	ﾅｼｮﾅﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ委託金	17,942,656
15款2項5目	県補助金	人権教育推進事業補助金	25,000
		伝統的建造物群保存対策事業補助金	191,000
		伝統的建造物群保存対策事業補助金（繰越）	133,000
15款3項1目	県委託金	ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場管理委託金	51,388,000
16款1項1目	財産収入	村有土地貸付収入	5,030
		村有建物貸付収入	2,112,544
16款1項2目	利子及び配当金	ｽﾎﾟｰﾂ振興基金利子	1,894
20款5項1目	雑入	コピー代	10,870
		自動販売機電気料	267,843
		雑入	2,899,100
		公民館講座受講料	419,900
		利用者カード再発行代	1,900
		村誌等売却収入	45,000
		ｽﾎﾟｰﾂ活動支援補助金	1,000,000
21款1項4目	総務債	辺地対策事業債（観光レクリエーション施設）	10,800,000
21款1項4目	観光債	辺地対策事業債（繰越）	37,800,000
21款1項6目	教育債	緊急防災・減災事業債	22,400,000

■主管する事業費（歳出） 378,736,655 （円）

2款7項1目	スポーツ事業総務費	19,766,898
2款7項2目	施設管理費	165,790,809
2款7項3目	スポーツ事業振興費	43,260,492
2款7項4目	ﾅｼｮﾅﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ費	6,219,038
9款4項1目	社会教育総務費	12,532,645
9款4項2目	公民館費	6,841,107
9款4項3目	図書館費	15,416,198
9款4項4目	文化財保護費	16,064,862
9款5項1目	保健体育総務費	19,069,290
9款5項2目	体育施設費	73,775,316

■課の方針と実績

令和６年度の生涯学習スポーツ課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

①村民のスポーツ参画の推進

令和６年度にスポーツ庁からスポーツ推進計画の策定自体が廃止となる連絡があり、予定していたアンケート調査は未実施となり、スポーツ実施率は判明しなかった。

②施設使用に関する予約システムの改善・推進

予約システムの運用は始まったが、施設の空状況等に関して煩雑さが残る結果となった。今後、更なる改善を図りたい。

③複合施設建設計画の具体化

複合施設の建設が望ましいとの結論に至ったが、財政的判断により子育て支援施設のみ先行して整備し、図書館は先送りすることとなった。この間、地権者との交渉を実施するに留まった。

④伝統的建造物群保尊地区保存活用計画の策定

目標通り「保存活用計画」を策定したが、文化庁から計画の不備を指摘されている。今後は、保存活用計画の見直しに着手する。

⑤芸術文化の振興

継続講座 12、新規講座 7 を開講した。新規に開講した中国語教室では、就労後に参加可能な夜に開催し、参加者の増加を図った。また、４講座は文化祭での展示とステージ発表に繋がり、教室の成果を披露できた。

４．村長が教育委員会に委任する事務について

子育て支援課

■主管する事業費（歳入）　285,865,947（円）

12 款 1 項 1 目	民生費負担金	保育所保育料負担金他	12,233,290
12 款 1 項 2 目	民生費負担金	未熟児養育医療費負担金	165,290
14 款 1 項 1 目	民生費国庫負担金	児童手当国庫交付金	88,145,331
14 款 1 項 2 目	衛生費国庫負担金	母子保健衛生費負担金	283,203
14 款 2 項 1 目	民生費国庫補助金	子どものための教育保育給付国庫交付金他	81,877,732
14 款 2 項 2 目	衛生費国庫補助金	出産・子育て応援交付金他	6,203,000
15 款 1 項 1 目	民生費県負担金	児童手当県費負担金	16,153,997
15 款 1 項 2 目	衛生費県負担金	母子保健衛生費県負担金	147,839
15 款 2 項 2 目	民生費県補助金	子どものための教育保育給付交付金他	42,171,138
15 款 2 項 3 目	衛生費県補助金	出産・子育て応援交付金	1,757,000
19 款 1 項 1 目		子育て支援事業繰越金	2,500,000
20 款 5 項 1 目	雑入	B&G 財団助成金(子ども第三の居場所)他	34,228,127

■主管する事業費（歳出）　583,502,326（円）

3 款 2 項 1 目	児童福祉総務費	343,187,598
3 款 2 項 2 目	子育て支援費	29,093,511
3 款 2 項 3 目	保育所費	168,515,283
4 款 1 項 4 目	母子健康費	42,705,934

前年度にあった小規模保育施設建設整備に伴う交付金の皆減等により、歳入は大幅に減少した。一方、令和６年度にスタートした子ども第三の居場所事業に対する補助金の増額や、人事院勧告に伴う職員人件費の増額等により歳出は増加した。

■課の方針と実績

令和６年度の子育て支援課は、以下のとおり目標を設定し、事業に取り組んだ。

①こども家庭センター機能の充実

これまでの「こども家庭総合支援拠点」と「子育て支援包括支援センター」の機能を維持したまま、「こども家庭センター」を 4 月から開設した。親切・正確な窓口対応を心がけることで、子育て世帯との信頼関係の構築に努めるとともに、児童福祉部門と保健部門の各係の連携を密にし、0 歳から 18 歳まで切れ目ない支援の充実に努めた。

②新子育て支援施設建設計画の具体化

新子育て支援施設の建設については、令和 10 年度の開所に向けて、これまでのタウンミーティングの検討結果や子ども子育て会議での機能検討等を踏まえ、基本設計を策定した。

③家庭保育支援の充実

家庭保育支援の充実では、子育て支援ルームの一時預かり事業において、生後６ヶ月を過ぎた子どもの受入れを実施した。また、家庭や学校で課題を抱える子どもたちが安心して過ごせる場所として、B&G 財団の事業を活用して村内に「子ども第三の居場所」を開設した。

④保育士等の人材不足の解消

保育士の慢性的な人手不足、なり手不足の改善を図るため、しろうま保育園での業務内容について見直し、連絡帳の廃止や制作物の簡略化等を行った。職場環境整備では、計画的な休暇取得を促進するとともに、１時間単位の休暇も柔軟に取得できる職場づくりに努め、休暇取得率の向上に繋がった。

国の制度改正に伴い、児童手当支給の拡充を行うとともに、国・県の給付事業として、物価高騰の影響を受けた低所得の子育て世帯等に、給付金を支給した。

9款	教育費	1項	教育総務費	1目	教育委員会費

事 業 名	教育委員会総務事業	決算書の頁	P. 81

事業内容

教育委員会の運営に関する事務

1. 白馬村教育委員会に関すること

2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等の運営に関すること

実績・成果

1. 白馬村教育委員会に関すること

定例会と臨時会の開催を行うほか、教育に関わる各種会議や行事等に出席し、関係団体と連携を図り、本村の教育に関する事務を管理執行。

(1) 定例教育委員会 年12回 （毎月）

主な審議内容

・教育委員会規則等の改正や制定
・条例の改正や制定、教育予算に対する意見
・委員の委嘱、任命
・県費教職員の内申や児童生徒の入学、転学等に関すること。

※定例教育委員会、臨時教育委員会の議事録を作成し、白馬村ホームページに掲載。

(2) 学校訪問　各校 1回（中信教育事務所と合同で訪問）

(3) 支出内容

・教育委員報酬（４名）　836,000 円　・交際費　32,460 円
・旅　　費　34,540 円　支出計　903,000 円

2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等の運営に関すること

(1)出席した主な会議や活動

・市町村教委、県教委懇談会　・県招地教委連絡会　・校長会地教委合同会議
・信濃木崎夏期大学　等

(2)支出内容

負担金　852,715 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
1,880,000	1,755,715	0	0	0	1,755,715

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事 業 名	教育委員会事務局一般事業	決算書の頁	P. 81－83

事業内容

教育委員会事務局の庶務的事業に係る経費を一般事業として執行。また、将来の学校施設改修に備えて基金への積立を行う。

主な事業
1. 教育長・一般職職員及び会計年度任用職員に係る人件費
2. 小中学校教職員福利厚生に係る事業
3. 校務支援システム事業
4. 義務教育施設整備基金積立
5. 事務局業務に係る諸経費

実績・成果

	主 な 事 業	金額(円)	事業内容
1	特別職(教育長)・一般職及び会計年度任用職員に係る人件費	50,952,203	給料・手当・共済・退職手当負担金・報酬・費用弁償(7名分)
2	小中学校教職員福利厚生費	1,200,000	教職員 12 名
3	校務支援システム利用負担金	1,342,440	月額 37,290 円×12 月×3 校
4	義務教育施設整備基金積立金	100,092,015	内 92,015 円は利子積立
5	事務局事業に係る諸経費等	2,223,195	
	就学時健康診断(10/19 実施)	90,000	健診医 3 名の報酬
	学校支援者補償制度加入掛金	117,000	学習支援ボランティア保険
	携帯メール学校連絡網利用料	128,700	絆ネット利用料 3校分
	私立高等学校生徒奨学補助金	400,000	1 人 2 万円 20 名に補助
	消耗品費、修繕費、コピー使用料等	1,487,495	事務局複合印刷機リース料等
合 計		155,809,853	

※その他財源の内訳 体育施設使用料 12,600 円、 教員住宅使用料 214,200 円
公有財産使用料 4,341 円
基金利子(義務教育施設整備基金・教育振興基金) 92,015 円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(校務支援システムに充当) 1,300,000 円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(上記のとおり)	一般財源
156,706,000	155,809,853	0	0	1,623,156	154,186,697

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事　業　名	教育相談事業	決算書の頁	P．82

事業内容

平成 26 年度から教育相談事業を実施。
児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組めるよう、児童生徒の不安や悩みを早期に発見し、適切に対応できるよう学校心理士・作業療法士を配置した。
いじめや不登校、子育て不安、特別支援等に関する相談について、各校児童生徒・保護者へのカウンセリングを行うとともに教職員へのアドバイスを実施。
各学校における教育相談体制の充実を図った。

実績・成果

学校心理士・作業療法士による相談事業

【相談員】　2名

【実施回数と内容】

カウンセリング	41件
支援会議	1件
職員相談	10件
集団療育	7件

※特別な支援を必要とする児童・生徒への適切な対応、家庭の養育力にかかわる問題、不登校への対応等に対して、円滑に学校と情報共有や指導を実施。

【支出した経費】
教育相談等業務委託料　469,382 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
594,000	469,382	0	0	0	469,382

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事　業　名	学校環境整備事業	決算書の頁	P. 82

事業内容

小中学校の施設及び設備等の整備・改修のうち、比較的規模の大きなものや各校に共通する賃借等を本事業で対応した。

実績・成果

費　　目・金　額(円)		金額内訳	内　　容
修繕費	**2,833,677**	2,833,677	南小学校 FF 暖房機修繕工事など 11 件
委託料	**4,730,000**	4,730,000	神城教員住宅解体工事監理委託・中学校 ICT 機器システム保守など
賃借料	**6,817,800**	6,817,800	校務用パソコン等(情報機器)リース ①ノート型PC48 台(南 18・北 30) ②職員室デスクトップ型 PC3 台(南 2・北 1) 中学校ソフトウェアライセンス使用権取得(170 台)
工事費等	**68,770,350**		
神城教員住宅解体工事		46,134,000	白馬診療所前の教員住宅解体
北小　校内教育支援センター設置		17,050,000	旧共同調理場を学習室へ改修
村立小中学校校長室空調設備工事		2,970,000	エアコン3台
その他工事		2,616,350	北小学校ブランコ設置など
備品購入費	**15,028,961**		
中学　生徒用PC購入		9,926,400	PC192 台
中学　教師用 PC 購入		1,757,800	PC34 台
小学校　クロスカントリー靴購入		1,403,182	159 足
その他備品購入		1,941,579	電子黒板購入、Wi-Fi 購入など
負担金	**2,074,150**	2,074,150	小中学生スキー場利用負担金
合　　計		**100,254,938**	

※ その他財源の内訳　ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(クロスカントリー靴購入に充当)　1,400,000円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(神城教員住宅解体管理委託に充当)　1,320,000円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(神城教員住宅解体工事費に充当)　46,080,000円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(校内教育支援センター設置に充当)　17,000,000円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金(小中学生スキー場利用負担金に充当)　2,000,000円
長野県GIGA基金1人1台端末整備事業補助金(中学生徒用PC購入に充当)　6,617,000円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金等)	一般財源
100,689,000	100,254,938	6,617,000		67,800,000	25,837,938

9款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費

事 業 名	南小・北小 学校管理事業	決算書の頁	P. 83

事業内容

白馬南・白馬北小学校の維持管理のための経常的な経費が主なものである。

項目＼学校	南　小	北　小
クラス数	8　クラス	13　クラス
児童数	105　名	259　名
家庭数	76　世帯	208　世帯
教職員数	19　名	36　名

実績・成果

維持管理に係る主な実績

義務教育施設における児童の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を行うとともに、修繕等については優先順位を決めて実施した。

（円）

支出科目	南小	北小	計
会計年度任用職員（給料・手当等）	3,144,871	3,081,393	6,226,264
燃料費・光熱水費	6,738,641	9,401,456	16,140,097
ガス代	134,500	56,196	190,696
灯油代等	2,282,139	2,323,159	4,605,298
電気代	3,135,052	4,055,521	7,190,573
上下水道料	1,186,950	2,966,580	4,153,530
修繕費	525,646	275,269	800,915
委託料	938,080	1,102,630	2,040,710
その他（消耗品・原材料）	657,241	503,170	1,160,411
合計	12,004,479	14,363,918	26,368,397

上記修繕費のうち主な修繕箇所

区分	内容
南小	渡り廊下窓ガラス、除雪機、スノーモービル　他
北小	体育館トイレ換気扇、トイレ照明器具、プリンター、除雪機　他

損害保険料（南小ガラス破損3件、北小ガラス破損1件）　119,474 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（損害保険料）	一般財源
27,125,000	26,368,397	0	0	119,474	26,248,923

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事 業 名	南小学校教育振興事業	決算書の頁	P．83－85

事業内容

白馬南小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行った。

令和6年度　学校基本調査による教職員数　（名）

教職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	支援講師	栄養職員	図書館事務	用務員	小計	合計
県費	1	1	8	1	1	1					13	18
村費							4			1	5	

実績・成果

白馬南小学校教育活動を支える教育振興事業

県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童への教育支援講師、英語指導をフォローするALTを村費で配置し、学習を円滑に行えるようにした。

また学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による児童・教員の健康管理や必要とする教具備品や学校図書についても適切に整備した。

内　容	金 額(円)	内　容	金 額(円)
報酬等	**10,651,839**	**使用料及び賃借料**	**678,207**
学校医（5名）	510,000	事務OA機器借上料等	376,367
学校運営協議会委員（11名）	98,800	パソコンソフト使用料	301,840
会計年度任用職員（4名）	10,043,039	**備品購入費**	**692,258**
報償	**207,543**	図書購入費	499,858
外部講師謝礼等	195,400	教具備品購入費	192,400
普通旅費	12,143	**補助及び扶助費**	**950,595**
需用費	**2,464,147**	校長会負担金等	174,235
消耗品費等	2,390,667	PTA教育環境増進活動補助金	150,000
修繕費	73,480	遠距離通学補助（25名）	276,300
役務費	**604,473**	準要保護児童援助費（16名）	304,080
通信運搬費	413,253	特別支援教育就学奨励費（4名）	45,980
学校災害共済保険料等	191,220	**合　　計**	17,125,544
委託料	**876,482**		
児童検診、教員健康診断等	400,482		
スキー教室コーチ委託料	476,000		

財源内訳　　国県支出金：特別支援教育就学奨励費補助金　22,000円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18,038,000	17,125,544	22,000	0	0	17,103,544

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事 業 名	北小学校教育振興事業	決算書の頁	P．83－85

事業内容

白馬北小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行なった。

令和6年度　学校基本調査による教職員数　（名）

教職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	支援講師	支援員	図書館事務	用務員	小計	合計
県費	1	1	13	1	12	1					29	36
村費							4	1	1	1	7	

実績・成果

白馬北小学校教育活動を支える教育振興事業

県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童への教育支援講師や支援員、英語指導をフォローするALT、日本語指導を村費で配置し、学習を円滑に行えるようにした。

また、学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による児童・教員の健康管理や、必要とする教具備品や学校図書についても適切に整備した。ICT 支援員（3校兼務）が個人事業主となったため委託した。

内　容	金　額(円)	内　容	金　額(円)
報酬等	**26,908,373**	**使用料及び賃借料**	**1,067,885**
学校医（5名）	606,000	事務OA機器借上料等	646,310
学校運営協議会委員（7名）	60,800	パソコンソフト使用料	421,575
会計年度任用職員（8名）	26,241,573	**備品購入費**	**3,012,238**
報償	**121,430**	図書購入費	1,205,084
外部講師謝礼等	121,430	教具備品購入費	1,807,154
需用費	**3,771,364**	**補助及び扶助費**	**1,319,204**
消耗品費等	3,647,394	校長会負担金等	298,190
修繕費	123,970	PTA 教育環境増進活動補助金	0
役務費	**950,188**	遠距離通学補助（31 名）	357,700
通信運搬費	634,103	準要保護児童援助費（27 名）	533,869
学校災害共済保険料等	316,085	特別支援教育就学奨励費（13 名）	129,445
委託料	**4,514,405**	**合　　計**	41,665,087
児童検診、教員健康診断等	1,227,685		
スキー教室コーチ委託料	994,000		
ICT支援業務委託料	2,292,720		

財源内訳　　国県支出金：特別支援教育就学奨励費補助金 64,000 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金（上記のとおり）	地方債	その他（上記のとおり）	一般財源
42,084,000	41,665,087	64,000	0	0	41,601,087

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事　業　名	スクールバス運行事業	決算書の頁	P．85

事業内容

児童が安全に通学できる交通手段として、スクールバスの運行を実証した。
乗車対象者は、通学距離が概ね片道 3.5km 以上の地区に自宅がある児童とし、猛暑時期及び積雪時期にあたる7月及び11月末から3月までの約5か月間の運行を行なった。
また今年度は、JR運行のない時間帯で、中学生の下校についても実証した。

実績・成果

1．運行概要

【白馬南小学校】（大型バス１台、タクシー1台）
対象者：めいてつ、飯森の一部、堀之内、三日市場、内山
※　堀之内、三日市場は通学路の状況を鑑み積雪時期のみ運行
※　内山の夏は大型バスに混乗、冬はタクシー対応

【白馬北小学校】（マイクロバス１台、大型バス２台、タクシー2台）
対象者：落倉、切久保、どんぐり、みそら野、エコーランド、和田野、山麓、野平、通、嶺方
※　和田野・山麓、野平・通、嶺方はタクシー対応

【白馬中学校】（マイクロバス1台、大型バス1台、タクシー2台）　*冬期のみ運行
対象者：神城、落倉、野平、嶺方
※　神城地区は部活動等に所属していて下校時刻が遅くなる生徒が対象で夕方のみ運行
※　完全下校時刻からJR運行時刻まで待機時間が長くなるため、北小児童の送迎が終了した大型バス1台が、車庫に戻るのに合わせて中学校へ配車・運行
※　落倉・野平地区の生徒は、小学生と混乗して登下校

2．月別乗車率　（%）

	7月	11・12 月	1月	2月	3月
登校	60.5	65.6	63.0	63.6	58.1
下校	48.2	58.1	59.2	56.0	59.4

3．支出内訳（委託料）　（円）

	7月	11・12 月	1月	2月	3月	合計
バス	3,512,300	4,886,200	3,968,800	4,257,000	2,180,200	18,804,500
タクシー	208,800	490,020	483,240	536,480	247,380	1,965,920
小計	3,721,100	5,376,220	4,452,040	4,793,480	2,427,580	20,770,420

【財源内訳】
※一般財源には事業に係る特別交付税措置分 11,651,000 円が含まれている

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
20,771,000	20,770,420	0	0	0	20,770,420

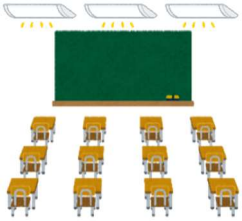
9款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費

事 業 名	中学校管理事業	決算書の頁	P. 85、86

事業内容

白馬中学校の維持管理のための経常的な経費が主なもの。

クラス数	10 クラス
生徒数	235 名
家庭数	212 世帯
教職員数	33 名



実績・成果

1. 維持管理に係る主な実績

義務教育施設における生徒の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を実施した。

科目	金額(円)	科目	金額(円)
会計年度任用職員(給料・手当等)	3,152,928	燃料費・光熱水費	5,915,152
委託料 (設備点検保守等)	649,510	ガス代	30,245
リース料	2,354,880	灯油代等	2,574,244
消耗品費	301,146	電気代	2,837,163
修繕費・原材料費	190,715	上下水道料	473,500
合計	12,564,311		

2. 上記リース料の内訳 (円)

普通教室、ランチルーム等 LED リース	1,766,160	開発教室、図書館等 LED リース	588,720

損害保険料(ランチルームガラス破損1件、ランチルームトタン剥がれ1件) 123,000 円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(損害保険料)	一般財源
12,633,000	12,564,331	0	0	123,000	12,441,331

9款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事 業 名	中学校教育振興事業	決算書の頁	P. 86－88

事業内容

白馬中学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行なった。

令和6年度　学校基本調査　（名）

教職員	校長	教頭	教諭	教養諭護	教栄諭養	講師	職員 事務	講師 支援	支援員	事務 図書館	用務員	小計	合計
県費	1	1	16	1	1	3	1					24	33
村費								5	2	1	1	9	

実績・成果

白馬中学校教育活動を支える教育振興事

県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする生徒への教育支援講師、英語指導をフォローする ALT、部活動支援員を村費で配置し、学習活動を円滑に行えるようにした。

また、学校運営協議会制度を導入し、学校運営の改善に努めるとともに、学校医による生徒・教員の健康管理や、必要とする教具備品や学校図書について整備した。

内　容	金　額(円)	内　容	金　額(円)
報酬等	**22,688,275**	**使用料及び賃借料**	**7,524,154**
学校医（5 名）	574,000	事務OA機器借上料等	673,274
学校運営協議会委員（9 名）	117,800	情報教育環境整備事業リース料	6,850,880
会計年度任用職員（10 名）	21,996,475	**備品購入費** 658,405	
報償 367,410		図書購入費	658,405
入学・卒業記念品等	147,160	**補助及び扶助費** 3,915,892	
普通旅費	220,250	校長会負担金等	331,275
需用費	**6,994,040**	スキー大会等派遣補助	845,307
消耗品費等	6,135,780	遠距離通学補助（22 名）	665,200
印刷製本費等	858,260	準要保護生徒援助費（30 名）	1,895,300
役務費	**1,033,229**	特別支援教育就学奨励費（9 名）	178,810
通信運搬費	739,084	合　　計	45,008,860
学校災害共済保険料等	294,145		
委託料	**1,827,455**		
教育用コンピュータ保守委託料	822,800		
児童検診、教員健康診断等	906,655		
スキー教室コーチ委託料	98,000		

財源内訳　国県支出金：特別支援教育就学奨励費補助金　89,000 円、部活動指導員任用補助金　192,000 円
その他：ふるさと白馬村を応援する基金繰入金（スキー大会派遣補助）　400,000 円、
奨学基金利子　60 円、教育振興基金利子　60 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金（上記のとおり）	地方債	その他（上記のとおり）	一般財源
45,609,000	45,008,860	281,000	0	400,120	44,327,740

9款	教育費	5項	保健体育費	3目	学校給食費

事 業 名	学校給食センター事業	決算書の頁	P. 93-95

事業内容

学校給食センターは令和元年度より本格運営を開始し、隣接する中学校へは直接受渡し、北小学校・南小学校へはそれぞれ専用のコンテナ車で運搬している。施設内の設備について、修繕の必要な個所は計画的に改修をしている。

給食費負担金は、賄材料費の一部に充てられているのが現状で、不足分は村が全て補填している。負担金は小学校 280 円、中学校 325 円/１食

◆賄材料費の内訳　　センター稼働日は 206 日

区　　分	白馬南小	白馬北小	白馬中学	合　　計
年間給食実施日数	191 日	193 日	196 日	
給食提供人数	129 人	298 人	247 人	674 人
給食費負担金	5,487,349 円	13,472,799 円	13,498,272 円	32,458,420 円
村補填金額	2,230,374 円	5,385,059 円	4,456,623 円	12,072,056 円

※数値には教職員等も含まれる。負担金は欠食申請分等を精算して徴収している。
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 2,500 千円を充当（単価上昇分・地場産品使用分補助）

◆子育て支援策として、3人以上の子どもを扶養する世帯の3人目以降の児童生徒の給食費の減免を行なっている。　　【再掲】下記数値は賄材料費の内訳にも計上

区　　分	白馬南小学校	白馬北小学校	白馬中学校	計
対象者数	13 人	27 人	12 人	52 人
減免額合計	2,701,887 円			

※白馬北小学校 12 月より転入生 1 名追加
※ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 2,700 千円を充当（賄材料費　第 3 子以上減免分）

◆給食用食材の購入は、給食用物資納入業者登録制度に基づき、登録業者から地場産物を優先して購入するようにしている。

魚・肉・果物・きのこ等の割合　（米は100％白馬産を使用）

全数に占める割合	県外	白馬	白馬以外の大北	その他県内
	70.4%	7.6%	5.5%	16.5%

長野県産に占める割合	白馬	白馬以外の大北	その他県内
	25.5%	18.6%	55.9%

大北産に占める割合	白馬	その他大北
	57.7%	42.3%

主食は、米飯だが、週 5 日の内、水曜日は麺類又はパンとし隔週で献立を組み提供していた。12 月に麺納入業者からの申し出により麺は提供を終了。1 月からは第 1.3 水曜日にパンを提供している。また、給食センターでは発生する生ごみを、センター敷地内の残渣庫と廃棄物庫に設置した 2 台の生ごみ処理機で一部処理をしており、1 年間で 3221.8kgの生ごみを処理した。

実績・成果

総事業費　110,803,915 円

(1)職員の状況　37,179,264 円

栄養士(パートタイム会計年度任用職員)	1	※栄養教諭1名 栄養士１名(栄養教諭は県費職員) ※常勤調理員１名、R5.12/31 から育児休業のため代替調理員で補填
常勤調理師(パートタイム会計年度任用職員)	11	
代替調理員・パン搬送(1 名)	7	

(2)　維持費　69,281,213 円

費目	金額(円)	主な内容
消耗品費	2,471,420	事務・調理場内等消耗品
燃料費	1,074,345	給食運搬用コンテナ車２台等
光熱水費	11,426,466	水道・電気
修 繕 費	499,070	調理場内壁・エコ給湯・調理機器等
賄材料費	44,530,476	給食原材料
役務費	630,820	通信運搬　口座振替手数料　コンテナ車点検　等
委 託 料	6,810,320 円	

施設管理委託料	5,199,810	自家用電気工作物保安管理	582,120
		機械設備保守点検業務	2,729,100
		厨房(調理)機器保守	993,300
		警備委託	151,800
		自動ドア保守料	132,000
		その他(電力業務ｻﾎﾟｰﾄ@28,600×12ヶ月/ｺﾞﾐｻｰ保守/ｼｬｯﾀｰ/雪庇落とし)	611,490
業務委託料	1,610,510	衛生検査	888,910
		消毒等業務	721,600

使用料及び賃借料	649,079	栄養管理システム・モップ・ｺﾋﾟｰ等
備品購入費	332,497	米用量り・栄養士用パソコン
負担金補助金	856,720	給食費システム等

(3)　扶助費　4,173,914 円　(援助費 3,575,539 円　奨励費 598,375 円)

区　分	白馬南小		白馬北小		白馬中学	
	人	金額（円）	人	金額（円）	人	金額（円）
準要保護児童生徒援助（給食費全額）	16	775, 702	23	1, 159, 503	28	1, 640, 334
特別教育就学児童生徒奨励(給食費 1/2)	4	100, 392	11	288, 503	7	209, 480

※ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 3,500 千円を充当(準要保護児童生徒援助費)

(4)　その他

補填金及び賠償金:70,205 円　償還金利子及び割引料:59,719 円　公課費:39,600 円

各種委員会の状況・運営委員会(6/12)　・献立委員会(偶数月に開催) 6 回開催

財源内訳　その他　学校給食費負担金:32,464,220 円

ふるさと白馬村を応援する基金繰入金:8,700,000 円、損害保険料:6,810 円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(上記のとおり)	一般財源
111,479,000	110,803,915	0	0	41,171,030	69,632,885

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費

事 業 名	スノーハープ維持管理事業	決算書の頁	P. 44-45

事業内容

1. 夏期・冬期の利用に関する受付
2. スノーハープ施設の維持管理及び修繕の実施
3. 各種大会開催のための会場提供
4. 施設維持管理に係る備品購入

実績・成果

1．使用状況　※NTC 利用者、スキー大会参加者は除く

利用者数	利用者数（名）			収入金額（円）		
	R5	R6	比較	R5	R6	比較
全　体	11,533	13,424	1,891	1,141,550	1,643,100	501,550
夏　期	8,895	8,829	△66	856,250	951,100	94,850
冬　期	2,638	4,595	1,957	285,300	692,000	406,800

2．施設の維持管理及び修繕

(1)委託業務・・・・・・・芝生維持管理業務(3 回)　576,627 円
管理業務委託(受付・圧雪業務・施設維持等) 9,383,000 円
浄化槽保守点検委託業務 209,000 円
ESP 業務委託料　171,600 円、電気保安管理業務　207,240 円
圧雪車点検業務(PB400、PB240D)　2,284,931 円
スノーモービル保守点検業務　214,170 円
その他委託 150,887 円　【13,197,455 円】

(2)修　　繕・・・・・芝刈り機修繕　328,520 円、スノーモービル修繕　326,274 円
管理等ヒューズ交換修繕　90,200 円、圧雪車パンク修繕 70,730 円
その他修繕　101,530 円　【917,254 円】

(3)光 熱 水 費 等・・・上下水道(442 ㎥) 336,210 円
電気(95,657kWh) 3,382,456 円、燃料(灯油 9,478L) 1,261,425 円、(軽油 9,147L) 1,536,510 円、その他燃料費等　200,688 円　【6,717,289 円】

(4)車両借上料等・・・コピー機リース料 130,529 円
AED リース料 62,040 円、　【192,569 円】

(5)原材料費・・・・・・・芝生肥料 562,950 円、
洗砂・山砕 147,972 円　【710,922 円】

(6)備品購入費・・・・・高枝チェーンソー67,100 円、充電式草刈り機 92,400 円、パワーブラシアタッチメント 44,000 円、斜面法面用草刈り機　253,000 円　【456,500 円】

(7)法面改修工事前払金 7,910,000 円　【7,910,000 円】

(8)その他　消耗品費、食糧費等　【694,063 円】

3．各種大会開催のための会場提供

(1)夏期　少年サッカー大会、ランニング記録会、スノーハープクロスカントリー大会等

(2)冬期　第 103 回全日本スキー選手権大会ノルディック複合競技、第 37 回全国高等学校選抜スキー大会、第 48 回白馬五竜とおみクロスカントリー大会、FISパラノルディック大会

4．参考

(1)法面改修工事(R6⇒R7 繰越)・・・11,868,000 円
法面改修工事に伴う実施設計・監督業務(R6⇒R7 繰越)800,000 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（競技場使用料等）	一般財源
42,317,000	30,796,052	1,384,675	7,900,000	2,213,493	19,297,884

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費

事　業　名	スノーハープ維持管理事業（繰越）	決算書の頁	P.45

事業内容

1. 安全確保のための法面改修

実績・成果

1. 安全確保のための法面改修　【37,806,000 円】

白馬クロスカントリー競技場は、長野オリンピック開催のために整備され、当時の自然環境への配慮から木材を使用した施工となっており、西側法面は経年による劣化が進行している。

そのための、安全確保を図るために改修するものではあるが、改修により

①草刈りなど施設維持管理が容易に行える

②クロスカントリーやスノーシュー、マウンテンバイクのコース設定が行える

③サッカー観戦などのグラウンド種目を上部から観戦できる

など、魅力がある施設になり、地域経済の活性化等効果が期待される。

工事請負費:37，560，000円

設計監理業務負担金:246，000円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
37,806,000	37,806,000	0	37,800,000	0	6,000

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費

事 業 名	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	決算書の頁	P.44-45

事業内容

1. リフトの運行
2. ジャンプ競技場施設の維持管理及び修繕の実施
3. 各種大会開催のため会場提供
4. 来場者増を図るための改修工事

実績・成果

1. 使用状況　リフト営業日数　（R5　332 日　・　R6　325 日）　※NTC 利用者は除く

	利用者数（名）			収入金額（円）		
	R5	R6	比較	R5	R6	比較
全　　体	43,619	41,418	△2,201	18,559,400	17,630,160	△929,240
夏　　期	40,174	39,259	△915	17,051,740	16,685,740	△366,000
冬　　期	3,445	2,159	△1,286	1,507,660	944,420	△563,240

2. 施設の維持管理及び修繕

(1)委託業務・・・・・・・競技場管理運営業務 50,332,000 円、電気保安管理業務 508,200 円、
雪止めネット着脱業務 7,865,000 円、圧雪車点検業務　3,782,900 円
散水切替業務　93,500 円、エレベーター保守点検業務　316,800 円
アイストラック点検・整備業務 2,772,000 円、ESP 業務委託料　330,000 円
電気設備動作確認 935,000 円、掲示計算システム保守点検 418,000 円
その他委託業務 573,353 円　【67,926,753 円】

(2)修　　繕・・・・・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰﾍｯﾄﾞ交換修繕 968,000 円、リフト改修工事　5,764,000 円
サマー用給水配管修繕 1,064,910 円、3 次元風向風速計修繕 567,380 円
管理道路補修修繕　380,000 円、エネルギー棟揚水管漏水修繕 128,700 円
圧雪車パンク修繕　161,095 円、電気設備修繕 211,321 円
その他修繕 358,497 円　【9,603,903 円】

(3)光 熱 水 費 等・・・上下水道(4,126 ㎥)1,008,430 円、電気(360,411kwh)11,172,276 円、
燃料(灯油 2,670L)359,260 円、(軽油 5,594L)962,297 円
その他燃料　159,541 円　【13,661,804 円】

(4)車両借上料等・・・除雪機借上料 649,000 円、コピー機借上料　171,992 円
降雪機借上料 1,056,000 円、 キャッシュレス機械端末借上料 43,560 円
公用車リース料 627,000 円　コンプレッサーレンタル料 631,862 円
その他借上料　67,127 円　【3,246,541 円】

(5)印刷製本費等・・・パンフレットデザイン制作費 211,200 円、　【211,200 円】

(6)備品購入費・・・・・無線機 6 台 267,780 円、　【267,780 円】

(7)そ　の　他(消耗品費、通信運搬費、北陸信越索道協会会費　等)　【2,270,776 円】

3. 各種大会開催のため会場提供

(1)夏期　サマーノルディックフェスティバル、SAJ・A 級公認大会、全日本スキー選手権(SP)
(2)冬期　第 37 回全国高等学校選抜スキー大会(SP、NC)、全日本スキー選手権(NC)

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（リフト使用料等）	一般財源
98,847,000	97,188,757	62,633,347	0	20,158,062	14,397,348

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	3目	スポーツ事業振興費

事 業 名	スポーツ振興事業	決算書の頁	P. 45-46

事業内容

1. スポーツの分野で活躍された方への表彰・激励
2. 各種スポーツイベント・事業への助成
3. パリオリンピック出場選手壮行会・パブリックビューイング等の実施

実績・成果

1. スポーツの分野で活躍された方への表彰・激励 【1,050,000 円】

種別	種目	対象者数	金額
スポーツ功労賞	アルペン(2)、クロスカントリー、ジャンプ、フリースタイル(2)、スノーボード、スケートボード、マウンテンバイク	9 名	420,000 円
スキースポーツ育成振興奨励金	アルペン、クロスカントリー(6)、ジャンプ(3)、フリースタイル(2)、スノーボード(2)	14 名	140,000 円
スポーツ大会出場激励金	ダンスドリル(2)、マウンテンバイク(5)、けん玉(2)、競技かるた(2)、スケートボード、体操、ライフセービング、サッカー、パワーリフティング、空手	17 名	490,000 円
合計		40 名	1,050,000 円

2. 各種スポーツイベント・事業への助成 【26,404,661 円】
(1)スノーハープクロスカントリー大会 3,780,661 円
(2)白馬村スキークラブ
①運営費補助 1,324,000 円
②強化事業補助 10,000,000 円
(3)白馬村スキー選手育成会 10,000,000 円
(4)白馬高校スキー部 1,000,000 円
(5)JOC ジュニアオリンピックカップ全国ユース選抜マウンテンバイク大会 300,000 円

3. パリオリンピック出場選手壮行会・パブリックビューイング等の実施 【755,311 円】
永原悠路選手(スケートボード男子パーク) 15位
壮行会:7月10日 協和ウイング白馬(ウイング21)
パブリックビューイング:8月7日 協和ウイング白馬(ウイング21)
のぼり旗・懸垂幕・スティックバルーンの制作

4. その他(表彰関係消耗品等) 【50,520 円】

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金等)	一般財源
28,272,000	28,260,492	0	0	22,335,894	5,924,598

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	3目	スポーツ事業振興費

事 業 名	スキー大会推進事業	決算書の頁	P. 45

事業内容

1. スキー大会への助成

実績・成果

1. スキー大会への助成 【15,000,000 円】

(1)2024 白馬サマーノルディックフェスティバル 900,000 円
①クロスカントリー 9月 22 日 スノーハープ 選手 117 名
②ジャンプ 8月 31 日 白馬ジャンプ競技場 選手延べ 92 名
③コンバインド 9 月 28-29 日 白馬ジャンプ競技場・スノーハープ 選手 72 名

(2)全日本スキー選手権大会(ジャンプ競技) 2,000,000 円
①ノーマルヒル:10 月 17-18 日 白馬ジャンプ競技場 選手 98 名
②ラージヒル:10 月 19-20 日 白馬ジャンプ競技場 選手 96 名

(3)第 103 回全日本スキー選手権大会コンバインド競技 2,800,000 円
1 月 28-29 日 白馬ジャンプ競技場・スノーハープ 選手 38 名

(4)白馬少年スキー大会 3,800,000 円
①クロスカントリー:1月 25-26 日 スノーハープ 選手延べ 241 名
②ジャンプ・コンバインド:2 月8-9日 白馬ジャンプ競技場 選手延べ 30 名
③アルペンK1(小学生 5・6 年)・Kids1(小学生 1・2 年)・Kids2(小学生 3・4 年):2月 14-16 日 白馬岩岳スノーフィールド 選手延べ 333 名
④アルペンK2(中学生及び高校 1 年の早生まれ):2月 11-13 日 白馬岩岳スノーフィールド 選手延べ 121 名 ※2 月 13 日コースコンディション不良によりキャンセル

(5)第 37 回全国高等学校選抜スキー大会 3,500,000 円
①クロスカントリー 2月 19-22 日 スノーハープ 選手延べ 535 名
②ジャンプ 2月 19-22 日 白馬ジャンプ競技場 選手 29 名
③コンバインド 2月 19-22 日 白馬ジャンプ競技場・スノーハープ 選手7名

(6)FIS2025 ファーイーストカップ 2,000,000 円
3月5-7日 八方尾根スキー場 選手延べ183名

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金等)	一般財源
15,000,000	15,000,000	0	0	15,000,000	0

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	4目	ﾅｼｮﾅﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ費

事 業 名	ナショナルトレーニングセンター（NTC）事業	決算書の頁	P.46

事業内容

NTC競技別強化拠点（ノルディック複合）の指定を受けている白馬ジャンプ競技場及び白馬クロスカントリー競技場において、国の委託を受けて強化指定選手がトレーニングを円滑かつ効果的に行うことができるよう施設管理者と連携して施設を運営した。また、中央競技団体（全日本スキー連盟）及び関係団体等と協議のうえ、競技力強化のために指定施設の機能強化を図った。

実績・成果

1．中央競技団体（全日本スキー連盟）強化指定選手の施設利用実績等

ジャンプ競技場		クロスカントリー競技場	
日数	延人数	日数	延人数
172 日	1,902 名	146 日	757 名

2．機能強化協議会の開催

2 回（参加者：SAJ、JOC、施設管理者、機能強化ディレクター等）

3．事業費の内訳

総事業費 17,912,829 円

区分	内容	金額
報償費	マネジメントスタッフ、講師謝金、トレーナー謝金	2,625,000 円
旅費	機能強化ディレクター、エリートアカデミー創設に係る打合せ旅費、トレーナー旅費	315,532 円
消耗品費	オーラリング、モバイルモニター等	425,057 円
通信運搬費	動作解析映像システム等通信料	124,190 円
委託料	クロスカントリー競技場コース整備費	1,050,000 円
	医科学データ収集分析委託料等	534,600 円
	機能強化ディレクター委託料	100,000 円
使用料	Zoom ライセンス、オーラリング使用料	108,398 円
NTC 事業計		5,282,777 円
ジャンプ競技場維持管理事業への充当	施設使用料	4,420,534 円
	施設整備費・燃料費等	6,824,813 円
クロスカントリー競技場維持管理事業への充当	施設使用料	285,500 円
	燃料費	1,099,175 円
充当合計		12,659,851 円
委託事業総額(国庫受入額)		17,942,656 円
令和 6 年度分 NTC 事業還付金見込み額 (国庫受入額 17,942,656 円 － 総事業費 17,912,829 円)		29,827 円
過年度国庫交付金	令和 4 年度分 NTC 事業還付金	936,261 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（）	一般財源
6,371,000	6,219,038	6,219,038	0	0	0

9款	教育費	4項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事　業　名	社会教育一般事業（人権教育事業）	決算書の頁	P88-89

事業内容

ウイング 21 にてコンサート等の公演を行い、芸術文化に触れる機会の充実に努めた。
「二十歳の集い」を開催した。
次代の社会を担う青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、家庭・学校・地域住民・企業・関係団体と連携して、安全で安心して暮らすことができる環境整備・普及啓発活動に努めた。
村内各地区の子ども会育成会と連携を図り、子どもたちの健全育成のために各種行事を実施した。

実績・成果

1. 社会教育委員会
社会教育委員会の開催（3 回）、各種会議・研修会等への参加
社会教育委員報酬　【76,800 円】

2. 青少年の健全育成のための環境整備、普及啓発活動等（白馬村青少年育成村民会議）
(1)有害環境パトロール活動（8 月 6 日(火)、参加者：PTA・社会教育委員・教員・主任児童委員）
(2)青少年育成村民大会の開催（10 月 19 日(土)、参加者：100 名）
青少年育成村民会議負担金　【83,260 円】

3. 二十歳の集い（対象年齢：20-21 歳、対象者 80 名、出席者 57 名）　【50,000 円】

4. ウイング 21 文化ホールにおける各種公演（芸術文化に触れる機会の創出）
(1)主催事業
①2024NAGANO 国際音楽祭　8 月 2 日（金）入場者数 210 名
②第 22 回白馬国際音楽祭　8 月 8 日（木）～10 日（土）入場者数延べ 568 名
③TSUNAMI ヴァイオリンいのちのコンサート　9 月 18 日（月）入場者数 96 名
④県民コンサート　3 月 2 日（日）入場者数 349 名
(2)共催事業
①映画「ゴジラ-1.0」　10 月 6 日（日）入場者数 231 名
②第 10 回はつゆきコンサート　12 月 7 日（土）入場者数 212 名
ウイング 21 芸術文化シリーズ実行委員会負担金　【1,492,088 円】

5. 村内各地区を越えた子ども同士の交流ができる子ども会行事の実施
(1)ウォーターフェスティバル in 白馬　8 月 4 日（日）子ども育成会参加者数 183 名
(2)冬の行事ーノルディックスキーこどもの日　3 月 15 日（土）参加者数 140 名
(3)大北地方子ども会フォーラム（11 月 16 日（土）松川村）めいてつ地区子ども会の発表
(4)全国子ども会安全共済会への加入　885 名（150 円／名）
白馬村子ども会連絡協議会・大北地方子ども会連絡協議会負担金　【259,473 円】

6. その他（人件費・備品購入費等）　【10,571,024 円】

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（ふるさと基金）	一般財源
12,972,000	12,532,645	25,000		1,400,000	11,107,645

9款	教育費	4項	社会教育費	2目	公民館費

事 業 名	公民館事業	決算書の頁	P.89

事業内容

1. 地域の身近な学習拠点・交流の場として、住民の学習ニーズや地域の実情に応じた公民館講座を開催するなど多様な学習機会を提供した。
2. 文化祭は芸能発表や展示を行い、村民の集い・ふれあい・学びあいを創出して生涯学習の充実を図った。

実績・成果

1. 公民館講座

村民のニーズ把握に努め、公民館講座を開催した。

区分	講座名	回数	参加延人数
はくば塾	白馬山麓めぐり	4 回	48 名
	古文書講座	4 回	75 名
	そば処に学ぶ　ご当地そばを訪ねて	1 回	12 名
	セロから学ぶ DX 講座	1 回	29 名
	神城断層地震の記憶を受けつぐ村内巡り	1 回	25 名
ふれあい教室	運動でセルフケア教室	10 回	160 名
	わでん伝筆教室	6 回	30 名
	みんなで歌おう　うたごえ教室	6 回	65 名
	ヘルシーアップクッキング講座	5 回	43 名
	とんぼ玉づくり教室	5 回	19 名
	家庭で楽しむコーヒー講座	2 回	18 名
	そば打ち教室	1 回	10 名
	かんたんな会話を学ぶ　中国語教室	10 回	143 名
里山道中	新緑の鬼無里の里山巡り	1 回	22 名
	白馬東山と北アルプス展望	1 回	19 名
	スノーシュー　白馬東山	1 回	13 名
	スノーシュー　早川谷（糸魚川市）	1 回	19 名
歴史紀行	旅日記を楽しもう　奥の細道　上越	1 回	20 名
	滝を訪ねて　奥志賀	1 回	19 名
	滝を訪ねて　称名滝（富山県立山町）	1 回	18 名
合　　計			807 名

講座講師謝礼　【492,000 円】

2. その他公民館事業

(1)村民運動会　9 月1日（日）　台風の接近により中止
(2)文化祭（11 月1日-3日、来場者数：約 4,000 人）
　作品展示：51 団体、芸能発表：17 団体、出店：20 店
(3)席書大会　10 月 26 日（土）　参加者 39 名
(4)こーみんまま・ぱぱクリスマスパネルシアター　参加者 115 人
その他（分館長・公運審委員報酬、消耗品、折込、保険掛金等）　【1,314,123 円】

3. その他（人件費）　【5,034,984 円】

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（受講料・使用料）	一般財源
7,431,000	6,841,107			469,700	6,371,407

9款	教育費	4項	社会教育費	3目	図書館費

事業名	図書館事業	決算書の頁	P.89-90

事業内容

図書館法に基づき、図書・記録・その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的とし、白馬村図書館協議会委員の意見を聴きながら、第三次図書館基本計画に基づき白馬村図書館を運営した。

実績・成果

図書館の運営・利用状況

司書（会計年度任用職員）フルタイム2名・パートタイム1名

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数	275日	268日	275日
来館者数	9,398名	10,780名	10,602名
貸出冊数	25,946冊	26,934冊	25,133冊
蔵書冊数	52,614冊	54,152冊	48,107冊
レファレンス件数	674件	605件	128件

※レファレンス件数は、令和6年度から図書館に関する内容のみの集計とした。

資料の保存場所が限界を迎えていることから、基準に基づき不要資料の除籍を進めている。
季節や時事に応じた展示を12回、図書館主催イベントを5回、ブックリサイクルを3回行った。
北アルプス地域5館間の輸送車巡回による相互賃借や他館返却は多くの方が利用している。
（相互貸借：借受357冊、貸出156冊／北アルプス他館返却：1,861冊（延べ389名））
図書館等複合施設について、図書館を含めた用地を確保したうえで子育て支援施設を先行して整備し、図書館の建設は先送りとする方針となり住民説明を行った。
図書館システムは令和5年4月にハードウェア・ソフトウェア更新を行い、5年リースでシステム移行を行った。（導入システム：NEC図書館システム「LiCS-Re3」）

図書等購入費 【1,499,959円】
消耗品費・修繕費・光熱水費・燃料費・通信運搬費等 【2,023,627円】
図書館システム保守委託料・機器借上料等 【2,607,528円】
消防施設点検委託料 【 105,930円】
その他（司書・図書館協議会委員報酬、負担金等） 【9,179,154円】

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（手数料・使用料・ふるさと基金）	一般財源
15,784,000	15,416,198	136,000		2,303,400	12,976,798

9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費

事 業 名	文化財保護事業	決算書の頁	P.90-91
事業内容	村内の文化財等の保護及び活用に努め、村民の郷土理解の醸成を図った。 ・国・県・村指定文化財の保護・活用・パトロール等 ・白馬連山氷河調査事業		
実績・成果	1. 文化財パトロール・保護事業 村内天然記念物指定の桜の開花状況等調査(4 月) 県文化財指導員と共に村内文化財(国・県指定)のパトロールを実施(7 月～8 月) (実施箇所:神明社、銅製御正体、船山遺跡、青鬼、 白馬連山高山植物帯) 2. 文化財審議委員会の開催 年 3 回(4月、10 月、2月) 各種調査を行うとともに、村内の文化財の状況について現状や課題を共有して検討した。 文化財審議委員報酬 【105,000 円】 3. 文化財指定 天然記念物 神城断層(塩島地表地震断層) 令和6年5月 23 日指定 4. 文化財保護事業補助金 八方尾根鎌池木道撤去 事業費 1,507,000 円 補助金交付額 1,000,000 円 神明社消防設備保守 事業費 94,416 円 補助金交付額 47,000 円 文化財保護事業補助金 【1,047,000 円】 5. 白馬連山氷河調査事業 唐松沢氷河に続き、白馬村内で氷河の可能性が高いとされる白馬沢・杓子沢・不帰沢について新潟大学・白馬山案内人組合等と調査を行った。 氷河調査委託料(質量収支・流動状況の測定、永久凍土の掘削等) 【880,000 円】 6. その他(旅費・消耗品・印刷製本費・講師謝礼等) 【128,310 円】		

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金)	一般財源
2,339,000	2,160,310			1,000,000	1,160,310

9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費

事 業 名	伝統的建造物群保存事業	決算書の頁	P.90-91

事業内容

平成 12 年 12 月に文化庁から重要伝統的建造物群保存地区に選定された青鬼地区において、文化庁や長野県教育委員会から指導・助言を得ながら、保存審議会を開催して指定物件（主屋・土蔵・石垣等）の保存及び活用の方向性を協議している。

令和6年度は国庫・県費の補助を受け、従来の保存計画に、地域や資源の活用や防災・防犯項目を加えた保存活用計画を策定した。（令和7年3月 28 日改定）

白馬村所有土蔵修理工事の2期工事（建具・左官工事）について実施した。

※地区内の指定物件については、劣化具合を精査して優先順位を付け、補助対象経費のうち、最低 15%を個人負担として残りの 85%を上限に補助を実施している。

実績・成果

1．伝統的建造物群保存地区保存審議会
第１回：令和６年９月 19 日　第２回：令和７年２月 26 日
審議会委員報酬　【154,200 円】

2．重要伝統的建造物群保存地区指定物件の修理
白馬村所有土蔵修理　２期建具・左官　工事費・設計監理委託料　【6,356,290 円】
国庫補助 3,188,000 円　県費補助 191,000 円

3．重要伝統的建造物群保存地区保存活用計画策定委託料　【2,145,000 円】
国庫補助 1,072,000 円

4．お善鬼の館等維持管理
公開・共用施設として、地区内の「お善鬼の館」を借り受け、青鬼集落保存会に維持管理を委託して運営した。
燃料費・光熱水費・修繕費・委託料・浄化槽点検汲取手数料等　【332,873 円】

5．全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金　【50,000 円】

6．その他（報酬・旅費・消耗品等）　【418,659 円】

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（ふるさと基金等）	一般財源
9,733,000	9,457,022	4,451,000	2,900,000	311,000	1,795,022

9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費

事 業 名	伝統的建造物群保存事業（繰越）	決算書の頁	P.91
事業内容	白馬村所有土蔵修理工事の1期解体工事について、降雪により工事費、設計監理委託費ともに全額を令和5年度から繰越して実施した。 ※地区内の指定物件については、劣化具合を精査して優先順位を付け、補助対象経費のうち、最低 15%を個人負担として残りの 85%を上限に補助を実施している。		
実績・成果	1．重要伝統的建造物群保存地区指定物件の修理 白馬村所有土蔵修理　１期解体　工事費・設計監理委託料　【※4, 447, 530 円】 国庫補助 2,229,000 円　県費補助 133,000 円　※R5から全額繰越		

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
4,448,000	4,447,530	2,362,000	1,900,000		185,530

9款	教育費	5項	保健体育費	1目	保健体育総務費

事 業 名	保健体育一般事業	決算書の頁	P91-92

事業内容

1. スポーツ推進委員会活動(イベントの企画及び運営)
2. 白馬村スポーツ祭の開催
3. スポーツ少年団活動
4. スポーツ協会活動補助
5. 各種委託料の支払い
6. ウォータスポーツフェスティバル
7. その他

実績・成果

1.スポーツ推進委員報酬(9 名分)585,000 円 【585,000 円】

2.白馬村スポーツ祭
参加者数 395 名
① 消耗品 34,746 円
② 食糧費 23,399 円
③ 審判委託料 144,400 円 【202,545 円】

3. スポーツ少年団(9 団体)活動補助 【725,000 円】

4. スポーツ協会活動負担金及び補助金
(1)各種村民対象のスポーツ大会の開催
①白馬スポーツ協会補助金 1,720,000 円
②郡スポ協負担金等 197,000 円 【1,917,000 円】

5.白馬村スノースポーツ教室運営委託金 【237,000 円】

6.ウォータースポーツフェスティバル
周知方法:チラシの大北管内小学校・保育園配付、ユーテレ放送、
参加者数:2,000 人
①消耗品 (バブルボール、プール備品等) 909,909 円
②食糧費 40,000 円
②印刷製本費 38,622 円 【988,531 円】
7.その他 消耗品 101,500 円、傷害保険料 84,840 円 【186,340 円】
8. 人件費等
職 員 2 名
会計年度任用職員(パート)1名 【14,227,874 円】

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金)	一般財源
19,423,000	19,069,290	0	0	3,420,000	15,649,290

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費

事 業 名	体育施設維持管理事業	決算書の頁	P. 92-93

事業内容

1. 体育施設の利用に関する受付
2. 体育施設の維持管理及び修繕の実施
3. 各種イベント、教室への会場提供等（白馬村スポーツ協会加盟団体、スポーツ少年団、スポーツクラブでの教室開催等

実績・成果

1. 利用状況
(1)利用者数　59,798 名
(2)収入金額　2,695,450 円

利用者・収入 / 施設名	利用者数（単位：名）			収入金額（単位：円）		
	令和5年度	令和6年度	比較	令和5年度	令和6年度	比較
北部ﾄﾚｾﾝ	16,985	20,025	3,040	706,150	924,400	218,250
南部ﾄﾚｾﾝ	5,304	6,120	816	494,600	620,750	126,150
B&G体育館	7,391	8,304	913	129,100	297,350	168,250
B&Gプール	5,383	6,086	703	334,750	340,150	5,400
北小体育館	1,921	2,040	119	0	400	400
南小体育館	2,059	2,149	90	41,600	40,100	△ 1,500
北部ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	11,616	8,574	△ 3,042	227,100	196,100	△ 31,000
南部ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	5,666	5,693	27	235,600	264,600	29,000
中学ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	192	95	△ 97	0	800	800
北小ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	0	6	6	0	4,800	4,800
南小ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	690	706	16	5,800	6,000	200
合計	57,207	59,798	2,591	2,174,700	2,695,450	520,750

2. 維持管理費用　（単位：円）

施設名	令和5年度	令和6年度	比較	令和6年度内訳			
				電気料	上下水道料	燃料費	電話料
北部ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	1,035,859	979,658	△ 56,201	940,183	22,200	17,275	-
南部ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	1,058,937	1,186,776	127,839	1,175,996	10,780	-	-
B&Gプール	1,816,137	1,702,508	△ 113,629	829,018	748,580	87,196	37,714
B&G体育館	346,936	434,732	87,796	351,012	83,720	-	-
北部ﾄﾚｾﾝ	736,199	948,873	212,674	897,153	51,720	-	-
南部ﾄﾚｾﾝ	274,425	280,110	5,685	229,700	50,410	-	-
合計	5,268,493	5,532,657	264,164	4,423,062	967,410	104,471	37,714

(1)維持管理費・・・　内訳は前ページに記載　【5,532,657 円】

(2)消耗品費・・・　整備用レーキ、蛍光灯、プール上屋保管シート等　【297,831 円】

(3)委 託 料・・・　白馬村 B&G プール運営業務　3,080,000 円
プール上屋設置撤去委託料 407,000 円
ナイター電気保安委託料　209,000 円
サッカーゴール運搬業務　90,750 円
ESP 業務サービス委託料　184,800 円
プール保守点検　88,000 円
トイレ清掃委託料　83,300 円
その他委託 228,460 円　【4,371,310 円】

(4)用地賃借料・・・　北部トレセン・B&Gプール　713,700 円
北部グランド 300,000 円　【1,013,700 円】

(5)修繕費・・・　南部トレセン照明LED化　589,600 円
北部トレセン入口ドア丁番交換　292,050 円
バスケットボールルール改正に伴う改線事業　280,500 円
B&Gプールろ過機ポンプ昇温ポンプ整備　217,360 円
プールシャワー等修理　125,290 円
北部トレセン壁修繕のため　102,300 円
その他修繕　248,820 円
【1,855,920 円】

3. その他
(1)長野県海洋センター連絡協議会負担金　【22,000 円】
(2)その他(旅費　76,500 円・モップ使用料　191,070 円
AED　40,920 円・チラシ折込　7,260 円・その他　179,210 円)　【494,960 円】

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（使用料等）	一般財源
13,913,000	13,588,378			2,762,062	10,826,316

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費

事 業 名	ウイング21維持管理事業	決算書の頁	P.92-93

事業内容

1. ウイング21の利用に関する受付(開催イベント:各種講習会、スポーツイベント、ウイング21友の会による映画鑑賞会等その他貸館イベント)
2. ウイング21の維持管理及び修繕の実施

実績・成果

1. 使用状況

各種教室・講習会・スポーツイベント、映画鑑賞会、文化イベント他

施設名	利用者数(単位:名)			収入金額(単位:円)		
年度	令和5年	令和6年	比較	令和5年	令和6年	比較
ホール他	19,194	19,138	△ 56	1,507,300	1,379,950	△ 127,350
多目的室	20,197	20,167	△ 30	639,550	586,950	△ 52,600
アリーナ	21,474	22,222	748	2,013,550	2,199,350	185,800
ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	3,065	5,936	2,871	537,800	1,785,800	1,248,000
合計	63,930	67,463	3,533	4,698,200	5,952,050	1,253,850

2. 維持管理費用

(1)ウイング管理・体育施設予約受付における人件費
会計年度職員(パートタイム) 5名分 【7,902,297円】

(2)光熱水費等・・・電気7,995,303円、水道504,620円、燃料費1,582,279円 【10,082,202円】

(3)消耗品費・・・ホール調光盤ニュートラルスイッチ 326,700円、清掃道具 24,602円
ホールステージ用ハロゲンライト 90,250円、その他 419,714円 【861,266円】

(4)修繕費・・・アリーナ高所電動窓修繕 426,360円
トレーニングルームドア上部パネル修繕 221,540円
調光盤ニュートラルスイッチ修繕 132,000円、アリーナ床補修 93,500円
バレーボール支柱位置ずれ修繕 56,100円、その他624,845円 【1,554,345円】

(5)委託料・・・空調機器保守1,617,000円、夜間受付業務1,092,960円
館内清掃858,500円、自家電気工作物の保安管理706,200円
舞台機構設備保守660,000円、環境衛生管理434,500円
調光・映像設備保守423,500円、公共施設エレベーター等保守管理355,300円
ESP業務委託303,600円 その他867,800円 【7,319,360円】

(6)工事請負費・・・事務室及び多目的室空調工事 12,870,000円
高圧受電設備更新5,720,000円、トレーニングルーム改修 5,000,000円
マンホールポンプ更新 3,850,000円
スプリンクラー配管内水抜き 1,067,000円、その他 266,750円
【28,773,750円】

(7)LED照明借上料 【2,552,880円】

(8)その他・・・事務OA機器等借上料 276,760 円、通信運搬費 237,306円
原材料費 184,140円、その他442,632円 【1,140,838円】

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(使用料等)	一般財源
60,943,000	60,186,938	0	22,400,000	11,115,520	26,671,418

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	児童福祉総務事業	決算書の頁	P. 53

事業内容

1. 白馬村教育支援委員会
　支援を必要とする児童生徒等の就学相談や教育支援に係る事項について、教育委員会の諮問に応じ調査、審議を行い、教育委員会に報告する。

実績・成果

1. 白馬村教育支援委員会
　児童・生徒と保護者、学校、教育委員会が円滑に合意形成を図るため、医療・保健の関係部局等と連携を図りながら、就学支援に関して下記のとおり実施した。
(1) 会議開催回数 … 教育支援委員会 3 回
　　教育支援委員会小委員会 2 回
(2) 委　員　数 … 16名 (内 報酬支払対象者 3名)
(3) 就学相談や教育支援に関する調査、審議

　児童生徒 30 名について、就学先又は学びの場(特別支援学級・通級指導教室等)を審議し、保護者及び関係機関との合意形成に向け調整を行い、今後の支援についても確認した。

事業費内訳

区 分	金 額	内 容
人 件 費	22,539,671 円	職員 4 名、教育支援委員
合 計	22,530,217 円	

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
22,573,000	22,539,671	3,192,000	0	0	19,347,671

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室）	決算書の	P. 53

事業内容

放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、異年齢間の交流や地域の人との関わりにより児童の育ちを促進する。

1. 名　　称
　北小放課後子ども教室（白馬村多目的研修集会施設内）
　南小放課後子ども教室(白馬南小ミーティングルーム)
2. 開設日と開設時間
　北小　学校開校日の毎週月曜日　下校時～午後5時
　南小　学校開校日の毎週木曜日　下校時～午後5時
3. 負担金
　北小　1年間 1,000 円/名、南小　児童クラブの利用が無い児童　1年間 1,000 円/名

実績・成果

1. 利用登録者数　　北小　12 名　　南小　10 名(うち 5 名児童クラブ利用児)
　対象児童は 1～4 年生で、北小の定員 20 名程度で募集、南小は 5 名程度

2. 利用者数　（単位:日、名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
北小 開設日数	―	―	3	4	1	3	3	3	4	2	3	2	28
北小 延べ人数	―	―	15	46	12	34	36	28	39	22	32	19	283
南小 開設日数	―	―	―	―	1	4	4	4	3	4	3	1	24
南小 延べ人数	―	―	―	―	7	36	36	29	21	34	23	9	195

※南小子ども教室は 8 月から開所

3. その他活動
・臨時北小放課後こども教室を実施した （7月 24 日）

事業費内訳

区 分	金 額	内 容
人 件 費	167,343 円	指導員2名
管 理 費	21,949 円	通信費
事 業 費	25,385 円	消耗品費、保険料
合 計	214,677 円	

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（利用者負担金）	一般財源
270,000	214,677	127,000	0	17,000	70,677

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事業名	放課後子どもプラン事業（放課後児童クラブ）	決算書の頁	P. 53

事業内容

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

1．名称
　白馬北小放課後児童クラブ（白馬村保健福祉ふれあいセンター内）
　白馬南小放課後児童クラブ（白馬南小学校体育館内）

2．開設日と開設時間
　日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く日
　学校の授業日：下校時～午後6時
　学校の休業日：午前8時～午後6時

3．利用料
　1ヶ月 2,300 円/名

実績・成果

1．登録者数　（単位：人）

	R2	R3	R4	R5	R6
北小児童クラブ	37	46	52	46	51
南小児童クラブ	12	14	19	24	28
合　計	49	60	71	70	79

2. 利用者　（単位：日・人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
北小放課後児童クラブ	432	477	440	482	405	417	429	376	355	316	297	273	4,699
南小放課後児童クラブ	159	165	151	221	206	146	132	154	120	134	124	128	1,840
合　計	591	642	591	703	611	563	561	530	475	450	421	401	6,409
前年度増減	149	129	73	201	115	90	59	83	15	103	88	120	1095

3. 運営経費

区　分	金　額	内　容
人件費	7,747,798 円	指導員 3 名 代替指導員 5 名　計 8 名
燃料費	62,040 円	灯油
管理費	173,187 円	通信費、機器借上料
事業費	351,425 円	消耗品費、保険料、口座振替手数料
合　計	8,334,450 円	

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（利用者負担金）	一般財源
8,481,000	8,334,450	6,632,000	0	1,469,700	232,750

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	児童手当給付事業	決算書の頁	P. 54

事業内容

児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、中学校修了までの児童の保護者等に児童手当を年3回(6月、10月、2月)支給する。

令和6年10月から制度が改正され、年6回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)の支給となり、18 歳に達する年度末までの児童が支給対象になった。また、第3子以降の一人当たり月額が30,000 円になった。

実績・成果

1. 児童手当の支給 120,460,000 円

	旧児童手当 (4月～9月分)	児童手当 (10 月～2月分)	合 計
延べ児童数	6,201 名	4,019 名	10,220 名
(うち3歳未満)	890 名	451 名	1,341 名
(うち3歳以上)	5,311 名	3,568 名	8,879 名
支給金額	68,440,000 円	52,020,000 円	120,460,000 円

2. その他の支出 1,761,036 円

消耗品費(目隠しシール)19,736 円
印刷製本費(封筒印刷費等)55,000 円
通信運搬費(児童手当制度改正通知送付代)18,700 円
電算委託料(児童手当拡充対応等)1,667,600 円

特定財源内訳 (単位:円)

	旧児童手当	児童手当	特例給付	合 計
国庫交付金	41,661,332 円	46,113,999 円	370,000 円	88,145,331 円
県費負担金	10,835,499 円	5,225,998 円	92,500 円	16,153,997 円
合 計	52,496,831 円	51,339,997 円	462,500 円	104,299,328 円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他( )	一般財源
122,264,000	122,221,036	104,632,328	0	0	17,588,708

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	児童手当等給付事業（その他）	決算書の頁	P. 54

事業内容

1. 施設型給付費
子ども・子育て支援新制度に基づき、新制度に移行した幼稚園に公定価格より算出された給付費を利用施設に支出する。

2. 地域型保育給付費
子ども・子育て支援新制度に基づき、認定こども園等を利用する子どもがいる場合、公定価格により算出された給付費を利用施設に支出する。

3. 施設等利用給付費
幼稚園や認可外保育施設等の預かり保育の利用に対し、3歳以上児で、保育の必要性を受けた場合には、月額上限 11,300 円、3歳未満児は、16,300 円を上限に利用額を助成する。
また新制度未移行の幼稚園等を利用する子どもの利用料（保育料）について、3 歳以上児は、月額 37,000 円まで。3 歳未満児は、住民税非課税世帯のみ月額 42,000 円まで、保育料等が無償となる。

4. 私立幼稚園運営補助金
3歳未満の待機児童解消に向けた取り組みとして、2歳児を受け入れる幼稚園に対して、補助を行う。

実績・成果

1. 施設型給付費 63,176,480 円

利用施設	年齢	対象人数
信学会白馬幼稚園	3 歳以上児	60 名

2. 地域型保育給付費 68,681,950 円

利用施設	年齢	対象人数
Familia Hakuba	未満児	5 名
サンライズキッズ保育園白馬園	未満児	22 名

3.施設等利用給付費 619,600 円

対象施設	種別	延べ対象人数（名）	給付額（円）
信学会白馬幼稚園	預かり保育	191	589,450 円
子育て支援ルーム	一時預かり保育	15	30,150 円
合計		206	619,600 円

・本事業により、保護者の金銭的な負担は軽減されている。
・一時預かり、幼稚園預かり保育、認可外保育施設利用料は、償還払いにより利用者に支出する。

実績・成果

4. 私立幼稚園運営補助金　3,000,000 円

利用施設	定員	受入人数
白馬幼稚園	6 名	6 名

5. その他

過年度国・県補助金等返還金　13,537,174 円

令和5年度(令和4年度からの繰越分)就学前教育・保育施設整備交付金:1,108,000 円
令和5年度児童手当交付金:10,950,347 円
令和5年度子ども・子育て支援交付金:462,000 円
令和5年度子育てのための施設等利用給付交付金(国庫):16,800 円
令和5年度子育てのための施設等利用給付交付金(県費):8,400 円
令和5年度新型コロナセーフティネット強化交付金事業費:800,000 円
令和5年度新型コロナセーフティネット強化交付金事務費:46,000 円
令和4年度保育所等整備交付金　:7,791 円
保育対策総合支援事業補助金:5,836 円
令和5年度児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金:132,000 円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金)	一般財源
149,437,000	149,015,204	83,375,870	0	52,334,000	13,305,334

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	低所得者子育て世帯給付金事業(繰越)	決算書の頁	P. 54

事業内容

1. 子育て世帯生活支援特別給付金事業(その他世帯)
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行う。

実績・成果

1. 子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親世帯以外)
(1) 支給金額 … 50,000 円/児童
(2) 支給対象者 … ① 令和5年3月分の児童扶養手当受給者等(低所得のひとり親世帯)
② 令和4年度分の住民税非課税の子育て世帯(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯)給付金を支給されている者(但し上記①を除く)

区 分	金 額	内 容
事務費	286,803 円	消耗品・通信運搬費・電算委託
生活支援特別給付金	11,600,000 円	232 名(133 世帯)
合 計	11,886,803 円	

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他( )	一般財源
13,313,000	11,886,803	11,886,803	0	0	0

3款	民 生 費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費

事 業 名	住民税非課税世帯への給付金事業 （こども加算分）	決算書の頁	P. 54

事業内容

令和6年度における住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯への給付の加算として、当該支給対象者（世帯主）の世帯員である 18 歳以下のこども（18 歳に達する日以降最初の3月31日までの児童）に支給する。

実績・成果

(1) 支給金額 … 50,000 円/児童

(2)支給対象者 … 以下全てに該当する児童
①令和6年度の住民税所得割非課税（均等割非課税含む）世帯
② 18 歳に達する日以降最初の3月31日までの児童
③令和5年度の住民税均等割非課税世帯への給付金（7 万円）を支給された世帯でない
④令和5年度の住民税均等割のみ課税世帯への給付金（10 万円）を支給された世帯でない

区 分	金 額	内 容
事務費	170,107 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・時間害勤務手当
生活支援特別給付金	1,900,000 円	38 名（22 世帯）
合 計	2,070,107 円	

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（）	一般財源
2,075,000	2,070,107	2,016,867			53,240

3款	民　生　費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費

事　業　名	子育て支援施設建設事業	決算書の頁	P. 55

事業内容

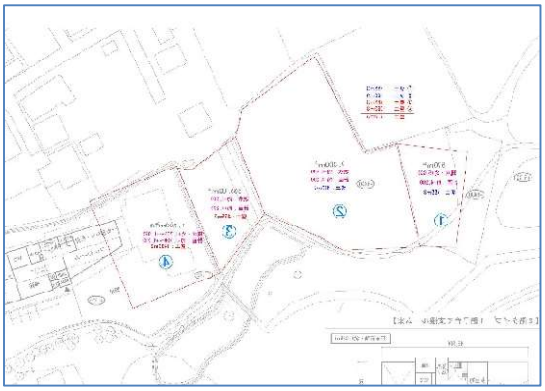
新子育て支援施設の建設事業に先立ち、これまでのタウンミーティングや子ども子育て会議での機能検討、昨年度実施したアンケート結果等を総合的に捉え、「白馬の子どもの健やかな育ち」や「子どもを中心とした地域の繋がり」、「白馬の未来拠点」といった考え方をベースにしながら施設建設の基本設計作業を行う。

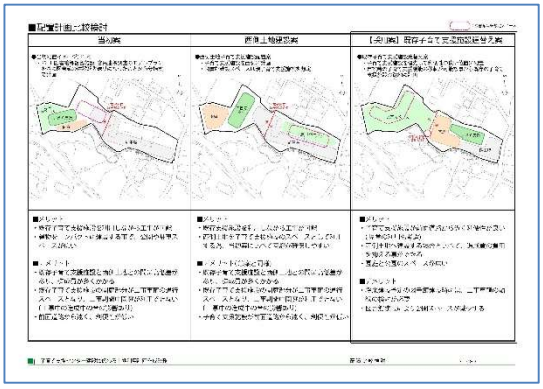
実績・成果

1. 基本設計委託料　　1,759,296 円
2. 不動産鑑定委託料　　55,000 円
3. 植生調査委託料　　275,000 円

【業務範囲】

①建築（総合）基本設計に関する業務
（白馬村景観条例に関わる届出を前提とした内容調整を含む）
②建築（構造）基本設計に関する業務
③電気設備基本設計に関する業務
（白馬村景観条例に関わる届出を前提とした内容調整を含む）
④機械設備基本設計に関する業務
（白馬村景観条例に関わる届出を前提とした内容調整を含む）
⑤土木基本設計に関する業務
（都市計画法、土壌汚染対策法、農地法、長野県自然環境保全条例、白馬村開発行為の調整等に関する条例、白馬村景観条例等に関する許可申請及び届出を前提とした内容調整を含む）





予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
2,200,000	2,089,296	0	0	0	2,089,296

3款	民生費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費

事 業 名	子育て支援事業	決算書の頁	P.55

事業内容

1. こども家庭センター(令和6年4月開設)の運営
   (1)個別相談・発達検査
   (2)関係機関との連携
2. 発達応援教室(あそびの教室)実施
3. 保護者向けガイダンス・勉強会・講座の実施
4. 病児・病後児保育事業
5. 子ども第三の居場所事業
6. その他の子育て支援に関する事業

実績・成果

1. こども家庭センターの運営
   妊娠期から 18 歳までの子育て家庭について、一人ひとりの状況に寄り添い、切れ目なくサポートを行っている。

(1)個別相談・発達検査
①相談件数 199 件(面談・電話)
②相談内容 妊娠期・子育て・家庭・園生活・学校生活・その他
＊学校生活の相談が最多。学校の学習支援・支援体制・集団生活の難しさの相談が多い。
＊継続して相談を受ける事があり、必要に応じて関係機関へつなげた。
③各種検査

検 査	5年度(名)	6年度(名)
WISC Ⅳ知能検査	5	18
新版K式発達検査	8	5
田中ビネー知能検査	1	0

＊病院受診している場合は病院で実施。

(2)関係機関との連携
①保育園、幼稚園、小学校、中学校を訪問し参観、情報交換を行い、支援会議、検査報告に参加した。
②就園就学時の情報提供引継ぎシートの作成

情報提供元	情報提供先	作成数(名)
認定こども園しろうま保育園	白馬北小学校	5
白馬南小学校	白馬中学校	4
白馬北小学校	白馬中学校	4
白馬中学校	各高校	3

③白馬村特別支援教育コーディネーター連絡会の開催
目的:本村の特別支援教育の支援体制の課題、幼・保・小・中学校の連携体制、情報交換
参加者:幼稚園・保育園・各小中学校の特別支援教育コーディネーター、子育て支援課

実績・成果

2. あそびの教室実施

(1)「すてっぷ」

対 象	2 歳児 あそびの教室「ほっぷ」終了後、さらに小集団活動の継続を希望する未就園親子
実 績	対象児数:10 名 実施回数:9 回　6 月～2 月に月 1 回程度 参加延べ人数:26 名 （前年度 92 名）

＊小規模保育園開園に伴い、未就園児数が減少している。未就園児親子フォローのため、限定して開催した。年度当初参加していた児も冬期に向け入園、転出したため対象児が減少した。

(2)「じゃんぷ」

対 象	3 歳以上児 小集団活動を希望する親子
実 績	

区分	登録者数	実施回数	参加延べ人数
年長児	7 名（前年 12 名）	9 回（前年 11 回）	28 名（前年 91 名）
年中児	18 名（前年 8 名）	14 回（前年 11 回）	68 名（前年 43 名）
年少児	21 名（前年 15 名）	14 回（前年 20 回）	108 名（前年 81 名）

(3) 5 歳発達相談

対象児:保育園・幼稚園年中児及び前年度未実施児

対象児数:63 名

実施状況:認定こども園しろうま保育園 4 回　年中 36 名（欠席1名）、年長 1 名

信学会白馬幼稚園　3 回　年中 25 名

3. 保護者向けガイダンス・勉強会・講座

(1)就学ガイダンスの開催

小学校入学にあたり、すべての子どもが持てる力を最大限に発揮し、共に学び合える教育を受けられる「学びの場」について説明。

対象者:信学会白馬幼稚園と認定こども園しろうま保育園の年中児保護者

(2)その他の勉強会・講座

勉強会・講座名	対象者	開催回数	参加延べ人数
ペアレントトレーニング	幼稚園児、保育園児、小学校児童の保護者	昼の部 3 回 夜の部 3 回	13 名 （前年 31 名）
親の会	発達障がい等診断のある児童の保護者	6 回	24 名 （前年 15 名）

4. 病児病後児事業 500,000 円（負担金）

北アルプス連携自立圏事業として、令和 2 年 10 月より大町市立大町総合病院内にて、病児・病後児保育が開始され、病後児保育を必要としている保護者の利便性向上が図られた。

	利用人数	利用延べ人数	登録数	利用日数
白馬村	4 名	7 名	9 名	7 日
全体	104 名	212 名	72 名	170 日

5. 子ども第三の居場所事業補助金

B&G 財団の事業として、学校でも家でもない子ども第三の居場所を開設するための開設費と運営費について事業を実施する外部団体へ補助を行った。

事業実施者:非営利活動法人 KUMOI

開設費補助額:26,905,650 円（B&G:25,000,000 円　村加算:1,905,650 円）※3-2-1 事業

運営費補助金: 6,914,465 円（B&G: 6,000,000 円　村加算: 914,465 円）

実績・成果

月別	登録児童生徒数	アウトリーチ数	延べ利用日数
12 月	24 人	4人	81 日
1月	25 人	3人	89 日
2月	26 人	2人	79 日
3月	27 人	1人	98 日

6. その他の子育て支援に関する事業

(1)子育て支援アプリ　244, 080 円（共同加入により、自治振興組合負担金）

子育て支援アプリにより、妊娠中の健康記録から子どもの成長記録、子育て情報を提供する。また、健診やイベント情報を随時に周知する。

（年度末の人数）

登録者数	令和 5 年度	令和 6 年度
	300 名	322 名

(2)子育て支援業務　30,000 円（委託料）

各学校（北小・南小・中学）への教育支援事業委託料として、各校　10,000 円

(3)ショートステイ委託業務　R6 実施なし。

令和年6度は児童養護施設等への一時預かりを利用された世帯なし

7. 運営経費

区　分	金　額	内　　容
人 件 費	17,150,682 円	職員 1 人、相談員2人
管理費	38,804 円	子育て支援業務委託料、通信費
事業費	7,844,729 円	ペアレントトレーニング講師謝礼、消耗品費、賄材料費、負担金
合　計	25,034,215 円	

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（B&G 第三の居場所助成金／ふるさと基金）	一般財源
25,644,000	25,034,215	3,867,000		6,000,000 1,070,000	14,097,215

3款	民生費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費

事 業 名	はくばっ子応援交付金事業	決算書の頁	P. 56

事業内容

1. 多子世帯出産祝金
   第3子以降の出生した子を養育している保護者に対し給付金を支給する。
   第3子 20,000 円　第4子 40,000 円
2. 入学卒業祝金
   小学校入学時、小学校及び中学校卒業時の子育ての節目に、対象児童を養育している保護者に対し給付金を支給する。 1人 10,000 円

実績・成果

1. 多子世帯出産祝金 160,000 円
   第3子 6 件
   第4子 1 件

2. 入学卒業祝金 1,810,000 円
   小学校入学祝金 54 件
   小学校卒業祝金 56 件
   中学校卒業祝金 71 件

予算額	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（ふるさと基金）	一般財源
2,140,000	1,970,000	0	0	1,900,000	70,000

3款	民生費	2項	児童福祉費	3目	保育所費

事 業 名	しろうま保育園運営事業	決算書の頁	P. 56

事業内容

1. 保育事業
令和5年4月1日より保育所型認定こども園に移行
生後 10 カ月児～就学前児までの保育を実施　開園時間 7:30～18:30

2. 特別保育事業
(1) 障がい児保育　加配保育士を配置し保育を実施
(2) 延長保育　延長保育士を配置し保育を実施　朝 7:30～8:00　夕方 16:30～18:30
(3) 希望保育　職員が当番制で保育を実施　土曜日・お盆休み・春休み

実績・成果

1. 保育事業
子ども・子育て支援新制度に基づき、保育の必要性を認定した上で入所とし、1 ヶ月の就労時間により、保育の必要量の区分を保育標準時間利用(1 日最大 11 時間までの利用)と、保育短時間利用(1 日最大 8 時間までの利用)として、朝 7:30～夕方 18:30 まで保育を提供する。

(単位:名)

年 齢	園児数	保育士数	標準時間利用人数	延長保育月契約人数	教育時間利用時間(1 号認定)
5 歳児	28	2	13	3	
4 歳児	41	2(1)	8	6	1
3 歳児	31	2	13	2	3
2 歳児	26	11	15	3	
1 歳児	17		6	0	
0 歳児	9		3	0	
合 計	152	17(1)	58	14	4

( ) 障がい児加配保育士　　令和7年 3 月 31 日現在

＜参考＞保育士配置基準(国):保育士1人に対する保育できる児童数
0 歳児・・・3 人、1・2 歳児・・・6 人、3 歳児(年少)・・・15 人
4・5 歳児(年中・長)・・・25 人

2. 特別保育事業

(1)障がい児保育
① 家族の希望・意向の聞き取り等をもとに、個別支援計画(前期・後期)を作成し保育した。
② 病院の診察やリハビリに同行し、保育園での様子を伝えたり、アドバイスいただいたり、保護者との情報共有や園児の状況確認を行い保育した。
③ 障がいの診断の有無に関わらず、5 歳発達相談で支援や経過観察が必要とされた園児や保護者・保育士からの相談があった園児に対しては、スクラムネットの協力のもと相談や発達検査を行い、必要に応じてこども病院や大町病院の発達外来・リハビリ、子育て相談支援センターのあそびの教室、大町市のキッズウィル、小谷村のそらいろなどにつなげ、園児の育ちを保護者と共通理解し発達を促す支援を行った。また、そらいろとは定期的にモニタリングを実施した。
④ 入学に不安を抱えている園児とその保護者に対して、就学前に小学校へ見学に行き不安を解消する機会を作った。

実績・成果

(2)延長保育

① 通常の登降園時間に送迎できない園児を、延長保育室(夏の暑い日や、人数の多くなる時期は2部屋)で、延長保育担当保育士(4～5人)が保育した。

② 延長保育利用園児が増えているため、保育士に加え、保育士資格を持たない保育補助者6名(うち3名は保育に興味を持つ白馬高校生)を採用して保育した。

(単位:名)

利用区分	利用者数 ＊延べ人数	前年度増減
保育標準時間	619	63
月契約	111	△12
緊急利用	390	134

(3)希望保育

① 日曜祝日以外の休みの日に、保護者の就労により家庭保育ができない園児を保育した。

(単位:名)

種類(実施日数)	利用者数 ＊延べ人数	前年度増減
土曜日 (49)	766	△52
お盆休み (4)	157	46
春休み (7)	480	209

3. 職員研修

(1)主な研修会(参加人数)

第63回長野県保育研究大会記念講演(オンデマンド配信)(19)
第63回長野県保育研究大会分科会(1)
長野県保育所地域子育て塾(オンデマンド配信)(19)
運動会実技研修会(2)
大北地区保育所保育士等研修会(3)
北安曇郡保育連盟保育士研修会(9)
主任保育士研修会(2)
三歳未満児研修会(2)
新任保育士研修会(1)
園内研修(6)
スクラムネット研修会(9)
食品衛生責任者実務講習会(1)
特定給食施設従事者研修会(1)
大北地域栄養士研修会(1)

4. 運営経費

区 分	金 額	内 容
人 件 費	128,278,468円	職員12名、会計年度任用職員33名(保育士・延長保育士・栄養士・給食調理員、代替え、保育補助)、嘱託医2名
燃料・光熱水費	5,887,628円	電気・水道・灯油・ガス料金
管 理 費	5,845,471円	施設管理委託料、工事請負費、修繕費、通信費、原材料費、OA機器借上料、ピアノ調律等手数料

事　業　費	15,963,819 円	給食賄材料費、消耗品費、備品購入費、保険料、口座振替手数料、印刷製本費、負担金
合　　計	155,975,386 円	

・主な工事請負費
① FF 暖房機入替工事 1,930,236 円

・主な修繕費
① 未満児用トイレ・外シャワー混合栓修理代 37,000 円
② エアコン修理代・室外機修理代・室内機修理代 282,700 円
③ 便座交換修理 91,190 円

・主な施設管理委託料
① 電算業務委託 554,400 円 … 保育料システム
② 衛生検査業務委託 358,072 円 … 保菌検査、拭き取り検査
③ 防犯業務委託 373,560 円 … 防犯システム、絆メール
④ 電気保安業務委託 244,200 円 … 電気設備の保安点検
⑤ 消防施設点検業務委託 94,600 円 … 消防設備・防火シャッターの点検
⑥ 空調機保守点検委託 118,800 円
⑦ 保育室 FF 暖房機保守点検業務委託 97,240 円
⑧ 園庭固定遊具保守点検業務委託 63,800 円
⑨ 生ごみ処理機保守点検業務委託 63,470 円
⑩ 地下タンク点検業務委託 41,800 円

・主な備品購入費
① 巧技台フタ 85,800 円
② レインボーフリー棚 100,350 円
③ IH 炊飯ジャー2台 391,600 円
④ スチームコンベクションオーブン 2,255,000 円

・給食賄材料費 10,218,858 円

・長野県保育料軽減事業
市町村民税所得割課税額が一定額未満の世帯や、第2子以降の保育料を無償化・軽減。
延べ対象者数:298 名、無償化・軽減した額:4,164,500 円
長野県保育料軽減事業補助金 2,081,000 円(1/2 補助)

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（保育料・延長保育料・給食費）	一般財源
156,888,000	155,975,386	1,748,000		10,423,560	143,803,826

3款	民生費	2項	児童福祉費	3目	保育所費

事 業 名	子育て支援ルーム運営事業	決算書の頁	P. 56

事業内容

1. 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)として、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。

(1)なかよし広場

月曜日～金曜日　9:30～12:00　、13:00～16:00

・友だちとの関わりや遊ぶ場の提供。

・村内の未就園児と近隣市町村にお住いの未就園児利用可能。

・園庭は常時開放。

(2)その他…食育活動、音楽コンサート、親子体操、
保護者の為のリフレッシュ講座、親子あそび講座等開催。

2. 一時預かり事業として就労、冠婚葬祭、保護者のリフレッシュ等の理由で家庭で保育をすることが困難な生後10か月児～就学前の乳幼児の預かり保育を行う。
令和6年度より満6か月～10か月までの乳児を2時間程度預かり保育を行う。

(1)一時保育…月曜日～土曜日　8:30～17:00　(時間外保育は要相談で受け入れる)
料金　3歳未満児　300円／1h　　3歳以上児　150円／1h
複数日利用(3日間以上)　6,000円／1w

(2)休日保育…日曜日・祝日　8:30～17:00
料金　3歳未満児　300円／1h　　3歳以上児　150円／1h

実績・成果

1. 地域子育て拠点事業

月別利用者数　(単位:名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
なかよし広場	89	118	117	135	83	111	86	97	100	103	111	91	1,241

(1)なかよし広場(自由利用)…庭遊具利用者除く

利用者数　1,241名　(対前年　△452名)

・利用者減少傾向にあり、いつでも気軽に立ち寄れる場所である為に、なかよし広場と自由利用を1つにして活動を行う。

(2)その他

①食育活動

・白馬村管理栄養士による「お昼会」(トマト豆乳スープ、豆腐とじゃがいものポタージュ等)
3回開催　参加家庭数28組　59名

・食育ボランティアによる「郷土食」(おやき・白馬豚の豚汁・すいとんおひょっくり)
3回開催　参加家庭数31組　64名

②育児講座・イベント等

・子育てに関するテーマに沿った講座、イベント等
「タッチケア」「親子音楽リトミック」等　8回開催　参加家庭数81組(167名)

・リフレッシュ講座
「刺繍教室」「森ヨガ」等　5回開催　参加者数40名

③ボランティア

・「読み聞かせおはなし会」月1回開催　参加家庭数57組(120名)

・しろうま女性会による草刈り作業　(参加者25人)

実績・成果

2. 一時預かり事業

月別利用者数 （単位:名）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
一時保育	34	53	48	82	72	56	84	80	131	153	137	148	1,078
休日保育	30	49	15	21	27	28	19	17	9	23	23	18	279
6 か月～10 か月	0	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	1	7

・一時保育 利用者 1,078 名 （対前年＋93 名）

12 月以降 0 歳児の一時預かり利用者が増加。

・休日保育 利用者 279 名 （対前年△120 名）

3. 運営経費

区 分	金 額	内 容
人件費	10,341,753 円	職員 1 名、会計任用職員 1 名、代替職員等
燃料・光熱水費	1,093,400 円	電気、水道、灯油、ガス料金
管理費	730,191 円	施設管理委託料、修繕費、原材料費、通信費、OA 機器借上料、ピアノ調律手数料、NHK 受信料、工事請負費
事業費	374,553 円	講師謝礼、消耗品費、賄材料費、保険料、備品購入費
合計	12,539,897 円	

・修繕費…82,350 円

単水栓パッキン交換、硝子入替、照明器具交換

・備品購入費…50,000 円

ベビーチェア、ベビープール

・主な施設管理委託料

防犯業務等 193,160 円、消防設備点検業務 34,100 円

予 算 額（円）	決 算 額（円）	財 源 内 訳 （円）			
		国県支出金	地方債	その他（一時保育料・休日保育料、おやつ代）	一般財源
13,304,000	12,539,897	7,118,000	0	1,754,900	3,666,997

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費

事 業 名	母子健康事業	決算書の頁	P. 60

事業内容

1. 母子保健事業
母子保健法に基づき、乳幼児健診・育児支援・発達支援等を実施する。
2. 予防接種事業
予防接種法に基づき、定期接種を実施する。村内医療機関の協力により集団接種を行う。
疾患等のある児および子宮頸がんワクチン等は、医療機関に委託する。
任意接種の小児インフルエンザ予防接種は、費用の一部助成を行う。

実績・成果

1. 母子保健事業

事 業 名	内 容	実 績
母子健康手帳交付	面談、プラン作成	39 名
2か月育児相談	発達チェック、相談	22 名 （84.6%） 6回
もぐもぐ教室	離乳食の指導・展示、発達相談	25 名 （72.9%） 5回
2歳相談	発達チェック、育児相談	28 名 （80.0%） 4回
赤ちゃんマッサージ	助産師によるマッサージ指導	延べ 43 名 （20 名） 9回
ブックスタート	前期乳児健診での絵本贈呈、趣旨説明	46 名 10 回
あそびの教室「ほっぷ」	小集団親子遊び	延べ 21 名 （8名） 8回
家庭訪問	新生児等	延べ 31 名 （31 名）
母乳相談等助成事業	助産師による母乳相談や乳房マッサージの費用助成	延べ 12 名 （9名）
眼科検査	保育園・幼稚園年中児視力等検査	園児 76 名
PT相談	理学療法士による発達相談・指導	延べ 73 名 （17 名） 12 回
CP相談	臨床発達心理士による発達相談・指導	延べ8名 （8名） 6回
OT相談	作業療法士による発達相談・指導、あそびの教室「すてっぷ」の指導	相談：延べ1名（1名）1回 「すてっぷ」：6回
園児食育・歯科指導	う歯予防、歯磨き指導、食育指導	保育園・幼稚園各1回
妊婦・妊婦歯科・乳児一般健康診査	妊婦健診14回・妊婦超音波4回・妊婦血液検査等4回、妊婦歯科健診1回、乳児健診1回の費用を助成 （医療機関委託）	妊婦健診等 855 回 妊婦歯科健診 11 回 乳児一般健康診査 4 回
新生児聴覚検査	新生児聴覚検査1回の費用を助成 （医療機関委託）	聴覚検査 28 回
前期乳児健診 対象：4～5か月	内科診察、育児・栄養相談、発達チェック	46 名 （95.9%） 10 回
後期乳児健診 対象：10～11 か月	内科診察、育児・栄養相談、歯科指導、発達チェック	37 名 （97.4%） 10 回
1歳6か月健診	内科・歯科診察、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	43 名 （93.5%） 5回
2歳歯科健診	歯科診察、栄養相談、歯科指導	18 名 （48.6%） 2回
3歳健診	内科・歯科診察、尿・聴力・視力検査、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	43 名 （95.6%） 5回

- 遠隔健康医療相談サービス「産婦人科、小児科オンライン」:1,188,000 円
  (登録者 276 人、相談数 107 件)
- 健診等委託料:10,556,612 円
- 電算委託料:440,000 円(内システム改修費 110,000 円)
- 不妊・不育症治療費助成:616,378 円(6名)
- 妊婦健診補助金等:269,140 円(7 名)
- 松本大北地域出産子育て安心ネットワーク協議会負担金:60,120 円

2.予防接種事業

	種類	接種者数	接種本数	接種率
集団接種 (ふれあいセンター)	ロタ	24 名	延べ 42 本	92.3%
	B型肝炎	38 名	延べ 79 本	92.7%
	ヒブ	41 名	延べ 103 本	93.1%
	小児肺炎球菌	47 名	延べ 130 本	90.4%
	4種または5種混合	53 名	延べ 140 本	91.4%
	2種混合	51 名	延べ 51 本	87.9%
	BCG	28 名	延べ 28 本	87.5%
	麻しん風しん	81 名	延べ 81 本	91.1%
	水痘	54 名	延べ 89 本	92.7%
	日本脳炎	140 名	延べ 176 本	90.9%
個別接種 (医療機関委託)	乳幼児	13 名 (延べ 102 本)		
	HPV(子宮頸がん)	59 名 (延べ 148 本)		
	高校生日本脳炎	1 名 (延べ 1 本)		
小児インフルエンザ (医療機関委託)	1回目 251 名、2回目(小学生以下のみ)167 名 延べ 418 本			

- 乳幼児予防接種ワクチン医薬材料費:5,390,992 円
- HPV ワクチン予防接種委託料:3,969,301 円
- 小児インフルエンザワクチン接種委託料:1,091,974 円

【事業費内訳】

区 分	金 額 (円)	内 容
人件費	16,725,214	職員2名、会計年度任用職員、医師、歯科医師等
管理費	12,184,612	健診等委託料、電算委託料、遠隔健康医療相談サービス利用料
事業費	7,472,649	消耗品、備品、特定計量器検査手数料、展示用食材費、ワクチン等医薬品材料、予防接種予診票印刷製本費、補助金等
合計	36,382,475	

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
37,941,000	36,382,475	18,987,000	0	0	17,395,475

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費

事 業 名	母子保健衛生事業	決算書の頁	P. 60

事業内容

1. 未熟児養育医療事業(国 1/2、県 1/4、村 1/4)
出生体重が 2,000g 以下等で、医師が入院療育を必要と認めた児の医療費を助成する。
2. 母子保健医療対策事業(国 1/2、村 1/2)
妊娠から出産1年を経過しない母親と乳児に対し、子育ての始まり期を集中的に支援する。
3. 出産・子育て応援交付金
妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援(既存の母子事業)とともに、経済的支援として「出産・子育て応援交付金」を支給する。

実績・成果

1. 未熟児養育医療事業
助成額 756,743 円、延べ利用者5名
2. 母子保健医療対策事業
(1) 産前産後サポート事業(育児相談・マタニティ相談)
助産師報酬等 80,750 円
①育児相談:利用者 45 名、延べ相談件数 117回(乳児 91 回、幼児6回、母乳 20 回)
②マタニティ相談:利用者 18 名　　③パパママ教室(新規):利用者 15 名(8組)
(2) 産後ケア事業
委託料 862,000 円、延べ利用者 12 名(宿泊型8名、通所型4名)
(3) 産婦健診事業
委託料 241,034 円、延べ利用者 48 名
(4) 母乳相談等助成事業
委託料 14,000 円、利用者7名
(5) その他
国庫負担金返還金等 859,000 円、消耗品 4,377 円
3. 出産・子育て応援交付金
(1) 出産応援交付金
支給額 1,850,000 円、支給人数 37 名
(2) 子育て応援交付金
支給額 1,650,000 円、支給人数 33 名
(3) その他
交付決定通知書郵送料 5,555 円

【事業費内訳】

区 分	金 額 (円)	内 容
人件費	80,750 円	会計年度任用職員(助産師)
管理費	1,117,034 円	産前産後サポート委託料
事業費	5,125,675 円	消耗品、郵送料、補助金等
合計	6,323,459 円	

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(未熟児養育医療負担金/ふるさと基金)	一般財源
6,432,000	6,323,459	4,702,042	0	165,290 80,000	1,376,127